



平成 27 年 8 月より開始した農大マルシェ「のうだい屋」

# 長野県農業大学校 同窓会会報

第14号  
【通巻101号】  
2016.9

長野県農業大学校同窓会

〒381-1211 長野市松代町大室3700 (松代キャンパス)  
(TEL 026-214-1835)

〒384-0081 小諸市山浦4857の1 (小諸研修部)  
(TEL 0267-22-0214)



# 自啓寮々歌

作詞 寮田生合  
作曲 町田生合等

# 清風寮歌

作詞 池田弥平  
作曲 五十嵐正一

一、北に聳ゆる戸隠と  
南に清き千曲川

善光寺平も色映えて

綾なす風をはらむれば

草木強く地にありて

伸びゆく幸を誇りいぬ

二、あゝ幾つ世か重ねきて

信濃の郷を拓かんと

健児育む幾千世

熱血の意気宿らせて

尚滔々と伝え行く

譽れも高し吾が寮史

三、朝な夕なに手を取りて

学理と技を磨きつゝ

瑞穂の国を興さんと

気高き理想胸に秘め

大なる自治の柱たて

我等が励む自啓寮

四、かたく大地を踏みしめて

力尽くさん魂限り

乾坤の正義衷に満ち

若き血潮はたぎるなり

黒雲なんぞきりぬかん

五、決意は固し百余人

青春の日はつらつと

苦楽を共に分かちつゝ

我が兄弟は睦み合い

全寮制の示すこと

よき心田を培いて  
自啓の花を咲かせなん

一、南に蓼科 八が岳

裾ひくあたり 望月の

牧場のあとの 丘陵に

農大健児集いたす

二、あしたに仰ぐ浅間嶺の

希望の光 胸にひめ

おおしき腕 結びあり

男子の血潮たぎりくる

三、千曲や鹿曲の水清く

四季に麗し この学舎

未来をになう 乙女らの

理想のつばみ花開く

四、たかき教えを ひとすじに

心をみがく 若人は

強く大地に 根をはりて

信州のあすを開きゆく

# 目 次

◎ あいさつ	
長野県農業大学校同窓会長	小松 正俊 1
長野県農業大学校長	町田 秀俊 2
◎ 功労者表彰の受賞者紹介	3
◎ 受賞者寄稿	
普及一筋一睡の如し～治本於農	岡田 勉 7
仲間と取り組む高齢者の集いの場づくり	江野澤喜代子 8
◎ 特別寄稿	
やかんの口(農大百年誌余談)	竹内 洋夫 9
◎ 支部だより	
上伊那支部だより	上伊那支部 北澤 克彦 10
蕪山反射炉と蕪山代官 江川太郎左衛門について～三島に住い50有余年	静岡支部 松井 正子 11
◎ 会員だより	
35歳になりました!	竹内芳次郎 12
イタリア 南チロル果樹視察を終えて	塩澤 晃弘 13
厚生年金と共済年金の一元化～平成27年10月どこがどうなる②～	米山 勝治 14
◎ 同級会だより(メモリアル同年会開催報告)	
古希と卒業50周年の記念同窓会を開催	深澤 賢教 15
永劫回帰	宮尾 一郎 17
◎ 同窓会だより	
歌集「聖和」複製発行と歌う喜びを求めて	依田 徳重 18
◎ 会務報告	
平成27年度長野県農業大学校同窓会事業報告	20
平成27年度会費会計・積立金会計収支決算書	21
平成27年度終身会費会計・育英事業会計収支決算書	21
平成27年度一括払会費納入者	22
平成28年度長野県農業大学校同窓会事業計画	22
平成28年度会費会計・積立金会計収支予算書	23
平成28年度終身会費会計・育英事業会計予算書	23
平成28年度会費の賦課徴収について	24
長野県農業大学校同窓会会則	24
長野県農業大学校同窓会役員名簿	26
◎ 大学校通信	
時代は移り変わっても	農業大学校研修部 27
キャンパスライフ 農業大学校ホームページ	28
農業大学校教職員名簿	30
平成29年度入学試験案内	31
在学生の状況	33
卒業生の進路の状況	33
◎ 同窓会員の皆様へのお知らせ・編集後記	34



## あ い さ つ

長野県農業大学校同窓会

会長 小松 正俊

昨年の会報「通巻 100 号記念号」では「猛暑の一言につきる・・・」とご挨拶申し上げたところでございます。今年はそれに勝る「暑い夏」でありました。

会員の皆様におかれましては益々ご健勝でご活躍のことと拝察いたします。

支部運営の創意工夫や本会の運営に対するご支援に感謝申し上げます。

去る 5 月の定期総会の席上、15 名の皆様が会員の総意にもとづく功労者表彰の栄に浴されました。心より敬意と感謝申し上げ、今後のご健勝でのご活躍を心からお祈りいたします。

また、物故された先輩・同志の皆様には心からご冥福をお祈りいたします。

さて、農業における事業・経営計画に、中期のビジョンや計画があります。

スポーツの世界では「4 年に一度のオリンピックの年」であり、映像を通じてですが、近年の他国開催の五輪大会にはなかった感動を覚えたところです。

日本人選手の大変な活躍とメダル獲得はもちろんですが、南米初のブラジル国での開催は、新天地での農業経営を夢見て昭和 50 年代まで続いた大規模な移民の地であり、苦難の時を経て、国や人種を乗り越えて日系人が活躍するブラジル社会が、無意識のなかにも背景としてあるからと思います。

「開拓と国内外の農業を目指す移住・移民のうねり」は、今や歴史であり時代背景も含めて隔世の感がありますが、そこにある「農業を志すロマン」は今日でも十分に気脈を通じるものがあるような気がいたします。

農業への新規参入、後継者を含む担い手の育成・確保については、長野県をはじめとする行政と先進的農業経営者・農業団体が一丁目一番地の施策として協調して汗をかいて頂いているところです。これは国内外との競争力のためだけでなく、地域の活力創造のために不可欠との価値が県民全体に共有されるものであり、ビジョンと実行が更に大きなうねりとなることを願うものです。

母校のこの春就農、就職された卒業生は、農大改革後最初の皆さんですが、在学時から将来に対する目的意識や目標をしっかりと捉えておられたとのこと、そのうえでのスムーズな進路決定などから、改革を目指す学校運営が成果を収めつつあるものと確信し、敬意を表するところです。

この新しい会員の皆さんを各支部において歓迎頂き、先輩・同志としてご助言・ご支援を賜りますようお願いいたします。この交流が同窓会運営の課題である「若い世代の参加」の大きなきっかけとなるものと思います。

同窓会運営では、会員名簿の整備未了部分の解消、会費の一括納入のお願いと誘導など基本的なことのほか、制度化して日も浅い「メモリアル同年会と祝賀金の活用促進、併せて本会との連携」、新たに開設したホームページの運営など重い課題が多いところですが、会員の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。結びに、母校の発展と、会員の皆様のご健勝でのご活躍をお祈り申し上げて会報発行に当たってのご挨拶といたします



## あ い さ つ

長野県農業大学校  
校長 町田 秀俊

同窓会員の皆様方には、益々御健勝で御活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃から母校発展のために格別の御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成 26 年度に着手した農大改革は 3 年目に入りました。「農業の担い手育成」に重点を置き、新たなコースの設置を始め、より実践的な講義・実習、就農支援の強化など、学校を挙げて改革に取り組んでまいりました。そして本年 3 月には、新たなカリキュラムを履修した最初の卒業生を送り出したところです。

その進路であります。新設した実践経営者コース 1 期生 6 名は、全員が県内で就農し、それぞれの目標に向かって経営規模拡大を目指します。既存コース 34 名については、就農 7 名、就職 27 名で、全員がほぼ希望に沿う形で就農又は農業関係へ就職いたしました。就農 7 名のうち 5 名は、将来の独立を目指し農業法人へ就職し、或いは里親研修を行っております。

4 月 12 日の全学合同入学式には、小松会長様の御臨席を賜り、総合農学科については、実践経営者コース 5 名、農業経営コース 43 名の意欲ある新生を迎えました。農業経営コースは、今年度から既存の作目別 5 コースを統合したものです。入学者の 3 割は女子学生で、「農大女子」の活躍を期待しております。

改革はまだ緒に就いたばかりですが、学生たちに見られる変化の一つとして、日頃の学習態度や意欲が全般的に向上していること、また、将来の目標をもった意欲的な学生が増えていることが挙げられます。今後も改革の大きな目的であります、担い手育成機関としての使命をしっかりと果たし、より良い学校となるよう、職員一同、取り組んでまいります。

昨年秋、同窓会の御援助をいただき、懸案でありました農大独自のホームページを開設させていただきました。リアルタイムで大学校と同窓会の情報を発信いたしております。新たな企画として、農大専任教授全員の顔写真とプロフィールを掲載いたしました。御覧いただければ幸いです。

今春、旧農業講習所を昭和 41 年 3 月に卒業された皆様方に御来校いただきました。100 周年記念碑や新しい学生寮などを御案内させていただきました。是非とも、変わりつつある農大の今の姿を御覧いただきたく、多くの先輩方の御来校をお待ちいたしております。

結びに、同窓会の益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝を心から祈念申し上げますとともに、変わらぬ御指導、御支援をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

# 功労者表彰の受賞者紹介

平成28年度総会の席で功労者表彰を受けられた方々を御紹介いたします。  
内容につきましては、支部からの推薦書による推薦理由と最終職歴を掲載させていただきました。

高見沢 郁生 様

推薦支部 佐久  
卒業年次 昭和29年3月卒



経営伝習農場卒業後就農し、地域の担い手として農業生産に励み、専門農協であるマルソ野菜販売組合の役員を中核として務めた。

その後、地域の消防団活動や農業委員などの要職をはじめ野菜販売組合の理事・監事として「高原野菜産地」の構築とブランド化に尽力された。

また、生産基盤整備による生産力の更なる安定と向上のため、県営畑地総合整備事業の建設委員長として10年間、160ヘクタールの整備を推進した。同窓会活動では、小諸キャンパスの南佐久支部理事として長年活躍いただいた。

昭和37年  
マルソ野菜販売組合役員  
昭和62年～3年間  
川上村農業委員  
平成2～3年  
マルソ野菜販売組合 理事  
平成4～5年  
マルソ野菜販売組合 監事  
平成13～22年  
県営畑地総合整備事業建設委員長 160ヘクタール完成

井出 善紀 様

推薦支部 佐久  
卒業年次 昭和36年3月卒



高度経済成長時代の幕開けとなった昭和30年代の単協に就職し、県内で営農指導活動に従事された。特に地元に戻った頃は、園芸品目の大増産要望を受ける時代に入る中、信州産高原野菜産地の構築を進め、全国に冠たる「南佐久高原野菜」の大ブランド創生に産地の要として尽力された。

同窓会活動では、地域の後輩の相談にのりながら、地区活動の良き取りまとめ役を担っていただいている。

昭和38年4月  
木曾三岳村農協  
昭和41年4月  
白田農協  
昭和46年4月  
南牧農協  
昭和49年4月～平成10年3月  
野辺山開拓農協  
南牧村消防団 分団長

西野入 政典 様

推薦支部 上小  
卒業年次 昭和38年3月卒



長野県職員として岳北農業改良普及所に勤務。北佐久、南佐久農業改良普及所を経て、昭和58年から専門技術員として県下の花き振興に大きく貢献された。

平成元年からは県農業大学校指導学部、平成11年からは同校営農学部勤務し、平成13年からは北信農業改良普及センター所長を務め、長野県農業の発展に尽力された。

同窓会活動では、平成3年から2年間は幹事長として、平成24年から2年間は上小支部役員を務め、会の運営に尽力された。

昭和38年10月  
長野県就職  
平成15年4月  
長野県農業改良普及協会常務理事  
平成22年4月～  
長野県農業改良普及協会顧問  
平成22年4月～  
信州の環境にやさしい農産物認証制度審査員及び有機JAS認定(有機農産物)審査委員

小平 雅彦 様

推薦支部 諏訪  
卒業年次 昭和37年3月卒



豊平農業協同組合を経て、長野県農業改良普及員として下伊那、諏訪、県庁、佐久普及センターに勤務され畜産の振興、青少年の育成、農業経営改善等にご尽力された。基盤整備や原村の花施設、富士見町のカーネーション施設等の事業を担当され園芸振興にご活躍された。

退職後は地元の農業委員会長を歴任し、現在は原村議会議長として地域の発展のために活躍されている。

同窓会では、諏訪支部幹事長として創立70周年記念行事を推進され、支部長として平成13年から14年まで農大組織統合を推進しその発展に寄与された。

昭和37年4月  
豊平農業協同組合に入所  
昭和38年4月～  
長野県採用  
平成16年～21年  
原村農業委員会長  
平成19年～  
むらづくり委員会委員長  
平成25年～  
原村議会議員議長

神澤 孝昌 様

推薦支部 諏訪  
卒業年次 昭和 35 年 3 月卒



地元の諏訪市にて水稻・野菜・養蚕・りんごの複合経営を営み、四賀農業協同組合の市場に出荷して地域の農業振興に貢献し、農業の傍ら左官業を営み住宅や土蔵の建設や改修に係わった。

時代の流れとともに都市計画等で水田は貸倉庫や駐車場等が変わったが、現在も畑で野菜等栽培し J A 直売所を活用している。

地域に於いては、諏訪市議会議員を務め、農政審議会委員、社会委員会副委員長、決算特別委員会副委員長等要職を歴任し、現在は水利権建設諮問委員会委員長を務め地域のリーダーとして活躍されている。

同窓会では、諏訪支部副支部長として貢献された。

昭和 35 年 4 月～  
諏訪市にて就農。水田 50a、畑 50a、養蚕、果樹の複合経営  
平成 15 年 5 月～平成 23 年 4 月  
諏訪市市議会議員  
平成 15 年 7 月～平成 17 年 6 月  
諏訪市農政審議会委員  
平成 18 年～平成 23 年  
諏訪市社会委員会副委員長  
平成 26 年 1 月～  
地区農業水利権建設諮問委員会委員長

唐澤 俊男 様

推薦支部 上伊那  
卒業年次 昭和 39 年 3 月卒



長野県職員として北安曇南部農業改良普及所に勤務。平成 8 年長野県農業大学校指導学部園芸学科長、平成 9 年から上伊那地方事務所農政課長、平成 11 年から農政部農業技術課技術専門幹・普及係長などを歴任され、長野県農業の振興・発展に大きく貢献された。

平成 16 年から 5 年間、長野県農業開発公社参事を務められた。地元においても農業委員などの役職を務められ、地域農業の振興に貢献されている。

同窓会活動では、平成 14 年から本庁支部役員、平成 16 年からは上伊那支部理事として長年活動され、平成 26 年からは監事を務められて同窓会の活動に大きく貢献された。

昭和 39 年 4 月  
長野県採用  
昭和 53 年 4 月  
信州大学農学部へ派遣  
平成 14 年 4 月  
農業部農村整備課長  
平成 20 年 7 月  
南箕輪村農業委員～2 期 6 年間

岡田 勉 様

推薦支部 下伊那  
卒業年次 昭和 36 年 3 月卒



昭和 36 年 4 月に伊賀良農協に就職。昭和 37 年 9 月から農業改良普及員として湖北農業改良普及所に勤務。その後、諏訪、松筑、下伊那などの農業改良普及所に勤務され、各地域の農業及び長野県農業の発展に尽力された。

また、平成 17 年 9 月からは飯田市上郷野底山財産区議会議員を務め、平成 26 年からは同議会議長を務めている。

同窓会活動においては、平成 17～22 年まで下伊那支会理事・熟年部長、平成 23～26 年まで下伊那支会支会会長を務められ、各支会の発展に大きく貢献された。

農大創立 100 周年記念事業実行委員としても活躍され、記念事業の成功にも貢献された。

昭和 36 年 4 月  
伊賀良農協  
昭和 37 年 9 月  
長野県採用  
平成 17 年 9 月  
飯田市上郷野底山財産区議会議員  
平成 22 年 9 月  
飯田市上郷野底山財産区議会副議長  
平成 26 年 9 月  
飯田市上郷野底山財産区議会議長

上條 重幸 様

推薦支部 松塩筑  
卒業年次 昭和 41 年 3 月卒



専業農家として就農し、特産である長いもやスイカを主に地域の農業生産に努める。

また、農産物出荷団体の役員を務め、地域農業の発展や後継者育成に尽力する。

また、村議会議員を 3 期務め、うち 1 期は議長として東筑摩郡山形村の発展に尽力した。

同窓会においては、平成 17 年度から平成 26 年度まで松塩筑支会幹事、平成 27 年度から現在まで同副支会会長を務め、広域的な支部活動に寄与している。また、任期中に実施された創立 100 周年記念事業の遂行に尽力した

昭和 41 年 4 月～  
専業農家（長いも、スイカなど）  
平成 10 年度～平成 17 年度  
東筑摩郡 山形村 議会議員  
東筑摩郡 山形村 農業委員  
平成 18 年度～平成 21 年度  
東筑摩郡 山形村 議会議長  
平成 26 年度～  
J A 松本ハイランド山形支所  
総代会長  
平成 27 年度～  
東筑摩郡 黒川堰土地改良区  
理事長

臼井 健二 様

推薦支部 安曇野  
卒業年次 昭和 34 年 3 月卒



農業協同組合に入組し営農技術員として、農家指導を熱心に行った。  
退職後は、水稻、麦、ワサビの複合経営を行いながら、地域農業の振興に貢献された。  
同窓会活動では、副支部長要職をこなし、支部活動の発展に努めた。  
平成 24 年度に、国勢調査員として職務を遂行した事について国家褒章（藍綬褒章）を授与された。

昭和 34 年 4 月  
木島平村往郷農協営農技術員  
昭和 35 年 4 月  
堀金村農協営農技術員  
昭和 36 年 4 月  
就農し現在に至る。  
JA あづみ理事（6 年間）  
JA あづみ食糧専門委員会副委員長  
信州ワサビ農協理事（12 年間）

山田 高久 様

推薦支部 安曇野  
卒業年次 昭和 34 年 3 月卒



農業協同組合に入組。  
その後農業改良普及員として活躍され、課長、所長などの重責を担い、北佐久、北安曇、南安曇、松筑で地域農業の発展に貢献した。  
退職後は、10 年以上にわたり、議会議員として活躍した。  
同窓会活動では、支部長要職をこなし、支部活動の発展に努められた。  
平成 25 年 4 月、北信越市議会議長会賞を受賞。  
平成 25 年 5 月、全国市議会議長会賞を受賞。

昭和 34 年 4 月  
上水内郡信濃町柏原農協  
昭和 35 年 4 月  
長野県採用  
平成 11 年 4 月  
南安曇郡豊科町 議会議員  
（議会広報委員長、総務委員長など）  
平成 17 年～平成 25 年  
安曇野市議会議員  
（副議長、福祉教育委員長、松本広域総務委員長、山林組合議長など）

唐澤あき子 様

推薦支部 長野南  
卒業年次 昭和 30 年 3 月卒



長野県職員（生活改良普及員）として県下各地で、27 年にわたり生活改善事業に取り組む。  
退職後も自宅に開設した料理実習室で地域女性を対象に料理教室を開き 34 年になり現在も継続中である。  
また、地域で農産加工グループを育成し、この活動のまとめ集「三千石の里」を発行。  
さらに平成 11 年から 75 歳以上の地域の高齢者を対象に「健康のつどい」を開設して、研修やおやつ・昼食の提供を 18 年間実施継続中である。そのほか、地元 JA 女性部長や民生児童委員等、地域に貢献している。  
同窓会関係では、農大百周年事業への積極的な協力。  
長野市民新聞に平成 20 年から毎月 1 回、郷土食を紹介。

昭和 30 年 長野県採用  
昭和 50 年  
故郷料理の研究や研修の実施  
昭和 57 年～現在  
料理教室を開設、数百名が受講し継続中  
昭和 63～64  
篠ノ井農協女性部長  
平成 8～13 年  
民生児童委員  
平成 20～現在  
長野市民新聞に郷土料理レシピを毎月連載、継続中

荒井 咲子様

推薦支部 長野南  
卒業年次 昭和 31 年 3 月卒



長野県職員として、県下各地の農業改良普及所で 15 年にわたり生活改良普及員として、生活改善事業に取り組み、農村の民主化と農家生活の向上、農村女性の育成に実績を上げた。  
昭和 52 年から生活改良普及員の産休代替え職員として延べ 9 農業改良普及所に勤務した。また福祉推進委員、公民館、PTA など地域活動にも貢献している。  
同窓会関係では、農大百周年事業への積極的な協力、新長野南支部設立に当たっては女性会員のとりまとめなどにも尽力頂いた。

昭和 32 年 長野県採用  
昭和 52 年～平成 4 年  
生活改良普及員（女性同窓会員の産休代替職員）  
平成 5 年～現在  
地区福祉推進員、地区公民館役員、地区 P T A 役員等、地域活動に貢献

北村 肇様

推薦支部 長野犀北  
卒業年次 昭和 33 年 3 月卒



梓農協をはじめ、篠ノ井農協・JA長野市中央などに勤務され、施設栽培やタマネギの普及拡大などに努めるとともに、退職後は、農業委員として地域農業振興に寄与された。

アスパラガス・果樹・タマネギを栽培し、栽培部長を務めるなど、地域の推進役を担っている。同窓会活動への理解も深く、後輩の育成にも尽力された。

昭和 33 年～52 年  
梓、篠ノ井、真島、川中島平、  
長野市中央農協  
昭和 63 年～平成 6 年  
長野県農協営農部会会長  
平成 11 年～17 年  
長野市農業委員  
平成 15 年～23 年  
川合新田保育園園長  
平成 18～23 年  
長野県日中友好高齢者大学推  
進委員会 理事

春原 基秀様

推薦支部 長野犀北  
卒業年次 昭和 38 年 3 月卒



長野県職員として北佐久地方事務所農務課を皮切りに、県庁農政部・地方事務所・農業改良普及センター・病虫害防除所・農業大学校に勤務され、農業行政・普及事業等に携わり、農業振興・地域振興に寄与された。

同窓会活動への理解も深く、支部組織再編の推進や支部活動に積極的に参加されるとともに、後輩の育成にも尽力された。

昭和 38 年 4 月  
長野県採用  
平成 16 年  
長野県原種センター嘱託職員  
現 長野市シルバー人材セン  
ター  
信濃秋香会 善光寺菊花展に  
毎年参加

江野澤 喜代子 様

推薦支部 千葉  
卒業年次 昭和 40 年 3 月卒



千葉県職員となり農業改良普及員として一貫して農業改良普及事業に従事し千葉県農業・農村の振興に貢献した。

また、生活改善グループを育成し、「君津のじまん料理」を 7 集まで刊行。地域の食文化伝承活動に尽力された。

同窓会活動では、平成 12 年～15 年度は副会長として、また平成 27 年度からは監事として会の活動を支えている。

昭和 40 年  
千葉県職員採用  
平成 16 年  
千葉県職員 定年退職  
平成 16 年～22 年  
民生児童委員地区会長



小松同窓会長より表彰状と記念品を受賞され、また、体験談をお話する功労者の皆さま

# 受賞者寄稿

## 普及一筋一睡の如し ～治本於農～

下伊那支部 岡田 勉（昭和36年3月卒）

同窓会員の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のことと推察申し上げます。

さて、この度長野県農業大学校同窓会平成28年度総会において、功労者個人表彰を賜りました。これはひとえに会長さんをはじめ、関係の皆様のご配慮のおかげでありまして、厚くお礼申し上げます。

私は、昭和34年に農業講習所に入学し、36年に卒業しました。当時は県の南部から長野市に行くには、飯田線、中央線、篠ノ井線を乗り継いで一日がかりでした。入学すると全寮制、一部屋6人で、今の様なプライベートの時間、空間もなくその中で人付き合いや社会生活の基本を学びました。このことはその後の人生において大変役にたったと思います。

昭和37年9月に普及員に採用され、赴任地は岡谷市にありました湖北農業改良普及所でした。農業の主なもの集約的な花（カーネーション、キクなど）とハウスの果菜類（トマト、キュウリ）で担当した湊地区は半農半漁で先輩が指導した洋梨、アズの団地があり、それからの指導とその合間に諏訪湖にかかわる魚の獲り方、加工そして生活を学びました。

その後、諏訪農業改良普及所茅野支所で広大な面積の米づくり、洋菜（セルリー）そして八ヶ岳山浦地方の生活習慣、御柱祭などを学びました。そして松筑、上伊那、下伊那、木曾、上小と北信を除く各地普及一筋に勤めさせていただきました。

勤務地が代わっても、市町村役場、JA、共済、統計、食糧事務などにいる同窓の先輩の皆様にお世話になりました。定年まで無事勤めることが出来ましたことを、厚くお礼申し上げます。

さて、同窓会下伊那支部での思い出は、飯田市の助役、市長を歴任された故清水重美大先輩です。普及所に来られますと気軽に色々なことを話して帰っていかれます。若い職員は「どこのお爺かい」と問われます。同窓会の総会に出席されると、戦後国で協同農業改良助長法が制定される時、国の審議員として地方から数少ない参加者として活躍したこと、初代副所長時代のことなどを1時間近く話され、懇

親会がいつになっても始められないことが毎年でした。先生の改良助長法、そして講習所での農業、農村の指導者の育成の思い入れは相当なものでした。

同窓会支部関係では幹事、幹事長そして支部長をやらせていただきました。支会長1期目の23、24年は農大創立100周年記念事業の準備、そして2期目25年は本会の記念式典、26年は下伊那支部記念式典及び祝賀会を行うことができました。特に本会記念事業の財源募金につきましては、目標金額が多額で大変心配しましたが、同窓会員129名より197万円と目標を40%上回り、協賛広告、記念誌の購入にもご協力をいただき、この場をおかりして、厚くお礼申し上げます。

また、記念碑の選文では本支部顧問であられました、故塩沢義男氏の『土塊百年緑永遠』が採用されました。塩沢さんは今年6月、支部の総会直前に急逝されました。貴重な人材を失い大変残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。

支部の記念式典、祝賀会はシルクホテルにおいて66名出席のもと盛大に執り行なわれ、同窓の絆を強めることができました。

私も70路中ほどの年となりましたが、まだ地域の役などがありますので、体に気を付けて頑張ろうと思うところであります。

最後になりましたが、会員皆様のご健勝とご活踏、本会の発展をご祈会申し上げ、お礼の言葉といたします。



## 仲間と取り組む高齢者の集いの場づくり

千葉支部 江野澤 喜代子（昭和40年3月卒）

平成28年度長野県農業大学校同窓会総会席上で、功労者表彰を賜りました。偏に関係者の方々のご配慮のおかげと心より感謝申し上げます。

私は、昭和40年に長野県農業講習所を卒業し、千葉県の生活改良普及員として採用され地元の上総農業改良普及所に着任し、39年間県職員として過ごして参りました。

昭和40年代は、東京オリンピックが開催できたことの自信、戦後20年過ぎ、世界を驚かせるほどの復興ぶり、右肩上がりの経済成長と世の中は、活気あふれていました。

千葉県でも、東京湾の埋め立て地に京葉工業地帯が誘致され、県内外に労働力を求め、発展してきました。このころ、農家の労働力も求められ、農繁期が過ぎると工業地帯に働きに行く人が多くなり、家計費の中でも現金収入は貴重になってきました。

収入増加に伴い、子どもたちの進学率も進み、子どもの将来の夢、職業の選択の自由を生むきっかけになったことと思います。

普及員になってから50年過ぎ、農業改良普及事業の取り組みも大きく変わり、生活改良普及員はどうなるのかと路頭に迷いましたが、時代の要求に従って行かなければならないのだと理解しました。

退職した平成16年、民生委員として委嘱状を戴きました。子どもの頃、父が取り組んでいたので、地域のために役に立つのでしたらと承諾しました。

平成16年12月より、私の住む箕輪集落と隣の青柳集落の約230戸が対象で民生委員としての活動が私に委ねられました。前任者より、今年から母子推進員制度がなくなり、その役割は、民生委員に加わる。対象が、赤ちゃんから高齢者までと幅広くなったということでもちょっと重荷を感じました。

この頃個人情報保護により、引継ぎの中身がほとんどなく、地域の実態を自分自身で調査し把握することが活動の第一歩でした。まずは、歳末助け合いの寄付金のお願いや、福祉協議会から障がい者等への見舞金を届けることから始まりました。

徐々に、一人暮らしの高齢者、高齢者夫婦の世帯が急増していること、集落内の組織の活動状況等がわかってきました。民生委員一期3年の任期を迎え

る頃、この集落を少しでも元気にするために何かしなくてはと、悩みました。

そこで、地域の婦人会活動をした仲間に、地域の実態を話し、何か出来ることはないか相談しました。

その1年後平成21年、君津市の広報に「文化のまちづくり市税1%支援事業」への参加募集の記事が掲載されました。ゼロからの出発と思い、市役所の窓口相談に伺いました。事業の説明会に数人の方と参加。手分けして、協力してくれる仲間を募り、この事業の二次募集に応募できるように進めました。

取り組む事業として「昔から地元の婦人会が開いていた、年に一度の敬老会が婦人会の解散により消滅している。年寄りも、楽しみにしていた行事であった」との話が中心となりました。



「高齢者の集う機会」を設けようと、事業名を「シニアの知恵と行動力を生かした住みよい地域づくり」と決定しました。推進メンバーは11人で、世話人として事業の中心となっています。会の名称は「みのわどんぐりの会」と付けました。

取り組みとして、1.自治会館に花壇をつくり年間を通して花を咲かせましょう。2.快適な生活環境づくりにゴキブリ団子をつくる。3.高齢者同士の交流の場として楽しい会にして行こう。以上の3点です。

6年間、市の事業を活用し、1年に4回開催してきました。27年度から自主活動に替え、自治会からの助成金、参加者の会費で会を賄ってきました。

世話人達の特技が活かされ、毎回の昼食のメニュー・生花・ポスター・ゲーム・歌など個性あふれる会が開かれています。参加者は、25人程で、帰る頃には、「また来るね」「楽しかったよ」「美味しかったよ」とニコニコ顔です。そんな顔が、私達の励みになり、やらなければ、と心を駆り立てます。

現在 8 年目に入り、その間高齢者も 10 人ほどが亡くなりましたが、まずは 10 年頑張ろうと皆、張り切っています。地元の仲間とこの様な活動が出来ることは、最高の幸せと常に感謝の気持ちで一杯です。

この様な活動の根本は、長野県農業講習所で学んだ事が、社会生活の基礎になっています。心から感謝申し上げます。最後に同窓生の方々のご健勝とご多幸をご祈念いたします。

## 特別寄稿



### やかんの口（農大百年誌余話）

竹内 洋夫（昭和 40 年 3 月卒）

自啓寮の一室、炬燵の上に置いたやかんを睨んで 4 人が議論している。甲君曰く「やかんの口は左側についている」、対面の乙君曰く「口は右だ」、右隣の丙君は「口は正面だ」と言い、左隣の丁君は「やかんに口など無い」と言う。4 人はそれぞれ己の立場で主張し、誰も間違っていない。ところがやかんをぐるりと回してみると「なるほど」と全員が胸におちる。人はたいてい己の立つ所でものを見て意見を主張する。それはいい、だがそれは絶対ではない。問題となっている事物はいろんな面を持っている、それをよくよく見なくてはならぬ。それとともに他の意見を述べる人の立場にもなって考えることだ。自分も向こう側に廻ってその人と一緒に眺めると彼の言うところに無理は無いと察しがつく。純粋に客観的公平に見るということは、どこの位置にも固着せず大所高所からゆとりを持って観ること、豊かな知識と経験と素直な心を持つことが必要である。

かつて「培」に掲載された上原靖先生寄稿「やかんの口」の要約である。上原先生は昭和 25 年から 42 年まで農業講習所で農業経済学や農村社会学の教壇に立ちながら、当時の清水重美副所長の片腕として農業講習所教育の組み立てに尽力した一人である。生活改良普及員の養成を目的とした生活学部の教科内容には先例が無かった。そこで高校の家庭科、女子大の教科課程、看護婦や保母などの職業教育関係を調査して草案が練られたが中心となったのが上原先生であった。この教科内容は全国モデルとなり多くの生活改良普及員を育てた。またこの生活学部教科に触発される形で畜産科と園芸科が設置され農業講習所教育が一段と充実した。

さらに上原先生は生活学部新設の思い出で「指導者は人間性が問われる、そこで全寮制に教育上の意

図を持たせて人間形成の手段とした」と明言している。これが同窓生なら誰もが認める自啓寮である。感受性の強いこの年齢のときに、生まれてはじめて家族から離れて社会生活をする、それも同じ類の仲間との合宿という形をとり、寮生の自治で運営される。このことが人間形成の上でどんな貴重な体験となるか、私も人生の中の僅か 2 年間のこの体験につくづく感謝している一人である。先輩二人と同輩の 4 人こたつで屑パンをつまみながら喧々譁々、世を語り農を論じ人生を談ずる。ときには「やかん」を睨んで物の見方や他人の考え方を知る。寮の一室で同居する先輩や同輩、後輩は抽選で決まる。同じ方法で年 2 回の部屋替え等、人間形成のために仕組まれた仕掛けが自啓寮であった。

新しい自啓寮はかつて 4 人部屋から個室になった。これも個が尊重される時代の流れの一つであることはわかる。しかし自啓寮は単に通学の便だけにあるのでは無い。個を尊重しながらも寮生の自覚と工夫で「やかんの口が日常」の自啓寮にしてほしいものだとして老婆心ながら祈念している次第である。

（元農大百周年誌編集主筆）



写真：昭和 32 年自啓寮北寮



## 上伊那支部だより

上伊那支部・支部長 北澤 克彦（昭和40年3月卒）

上伊那地域を紹介しますと、南アルプスと中央アルプスの二つのアルプスが望まれ、中央を南北に天竜川が流れ下り、豊かな自然と文化に恵まれており、天竜川の両岸には河岸段丘の広大な農地が広がっています。また、平成18年には権兵衛峠トンネルが開通し、木曾地域との新たな交流・物流も進んでいます。

産業では、電気、精密、機械工業や食品加工産業など発達し、農業面では河岸段丘等肥沃な農地と立地条件を生かした、多様な農業が営まれています。

水稻をはじめ、野菜、畜産、きのこ、花き、果樹等の農業が展開されている上伊那の農業ですが、更に、持続的な農業を維持展開するための集落営農組織づくりが全域で積極的に取り組まれ、地域ぐるみの営農・生産体制の整備も進んでいます。

同窓会上伊那支部は、現在200人余りの会員です。支部の会則では、会員相互の連携及び親睦と地域活動、情報の交換などを活動目的としておりますが、毎年度開催する支部総会が唯一の全体行事で、その他の事業活動は行っていないのが実情です。

管内は8市町村ですが、支部の体制として、各市町村並びに職域ごとに代表いただく理事を置いています。また、熟年部、青年部、女性部の各部長役も選任しております。

毎年の支部の活動として、市町村地区や職域ごとの集まりや部活動への積極的な取り組みを方針としていますが、残念ながら取組実施の地区活動なども少ないのが実態です。

支部総会は毎年度開催し、近年は20名程の会員の出席で行っています。支部の総会の特徴として、議事の他に、農業や農政などに関連する事柄や体験・取り組みなどをとらえ、出席の会員が講師となって研修会的な催しを行っています。



近年では、・開発途上国生活改善支援に参加して（23年 女性会員）・長野県の夏秋どりいちご栽培について（24年 普及センター職員）・JA組織の今後の在り方について（26年 JA職員）・農業委員会の今後の在り方について（27年 農業委員）、の内容で行って来ています。平成25年度は、農大100周年の支部記念式典・祝賀会として多くの会員が出席した催しの中で、・農商工連携による栗の産地とブランドづくり、と題した講演会を行い、地元の栗菓子会社の常務さんから活動を紹介いただきました。また、今年の総会では、「道の駅田切の里開設と運営について」と題して、地元の田切地区では少子高齢化が進む地域の活性化策とし町に要望し、高齢者等への買い物支援宅配、地元の農産物を使つての6次産業化など、交流による地域活性化を目指す道の駅の内容を、地元の会員から講演していただきました。

支部の活動がやや低調気味でもあり、会員の親睦・交流等の活発化へ向け、支部の組織や役員体制の在り方などについても検討し整備を進めるように努めています。魅力ある有意義な同窓会支部で、未永く更に活発に続くようお互いに励みたいと思います。

## 蕪山反射炉と蕪山代官 江川太郎左衛門について ～三島に住い 50 有余年

静岡支部 松井 正子（昭和 34 年 3 月卒）

昭和 33 年 9 月 26 日静岡県伊豆半島の中央、天城山に 700 ミリを超す雨が降りました。この山から田方平野を北に流れ、沼津市から駿河湾に注ぐ全長 46 km の狩野川が各地で氾濫し、流域の田畑と人家に甚大な被害を与え 1,300 人近い人の尊い命を奪った。これが狩野川台風でした。

その翌年、まだ復興途上の田圃の共同田植、共同炊事の現場に私はおりました。昭和 34 年 3 月卒業し、その年の 6 月のことでした。この土地や人々のことも何もかもわからないまま、現地で白衣を着て無我夢中の日々でした。経験のない私が……。

今想い出すとただただ恥ずかしく、当時の皆様に申し訳なさでいっぱいです。普及員としてはこの 3 年間お世話になっただけでした。

長年にわたり静岡県の普及活動に尽力された先輩、後輩の方々をさて置き、又現在の静岡県の農業事情について皆様にお伝えする力もなく申し訳なく思いますが、私が当時就職した田方北部農業改良普及所管内で伊豆半島田方平野に今なお、凜として立つ蕪山反射炉、そして当時の蕪山代官、江川太郎左衛門（英龍）について書かせていただきたいと思います。

昨年平成 27 年 7 月 8 日、蕪山の反射炉は世界遺産となりました。（明治日本の産業革命遺産）三島から 15 km 程南に位置し、鎌倉幕府をひらいた源頼朝が都より流された蛭が小島のすぐ近くで、現在の「伊豆の国市」にあたります。

この反射炉は鉄製の大型の大砲を製造するための溶解炉であり、幕末に稼働した唯一の現存施設です。

江戸時代末期、列強諸国に対抗するため幕府を中心に薩摩藩や佐賀藩等がオランダの技術書と日本の



世界遺産の蕪山反射炉

伝統的な技術の統合により近代的な軍事技術が図られ、蕪山の反射炉は佐賀鍋島藩の技術者を向え 1854 年に起工、1858 年に連双式二基四炉が完成しました。

反射炉とは、金属を溶かし大砲などを製造するための溶解炉で、石灰などを燃料として発生させた熱を炉内の天井で反射し一点に集中することにより鉄を溶かすことの出来る千数百度の高温を生む。このように熱を反射する仕組みから反射炉と呼ばれました。

江戸城を守るため、24 ポンド砲、80 ポンド砲の製造に当りました。この偉業を成し遂げた人物は、蕪山代官（幕府の直轄地を支配する行政官）江川太郎左衛門英龍です。

1835 年、江川家の 36 代当主となり西洋砲術家高島秋帆に入門し、又蕪山塾を開き、海防のための蘭学、兵学の普及をはかり 280 余名の塾生がここで学びました。佐久間象山や松代藩家老金見忠兵衛も塾生の一人でした。



江川太郎左衛門英龍

1853 年、江戸湾品川台場築造の命を受け江戸城を守るため 12 基の台場を築くため、設計築造に尽力。現在は第 3 台場と第 6 台場が保存されています。

1854 年 蕪山反射炉築造

1855 年 蕪山反射炉の完成を見ずして死去

1858 年 蕪山反射炉完成

1868 年 明治元年となる

清和源氏の流れをくむ江川太郎左衛門英龍は激動の世に生まれました。この国の平和を願い鎖国時代の終焉と開国の必要性を感じ、欧米諸国と渡り合える国にするために学び、工夫し実行にと心血をそそいだ偉大な人物でした。江川邸は今も蕪山反射炉のすぐ近くに大切に保存されております。

終わりに・・・毎朝私は自転車で富士山を背に国道一号線を横切り農協様にお借りした畑へ向います。

私の一番の至福の時間です。講習所の同級生にいただいたハックルベリーの実が次々に紫色に染まっています。又ホセ・ムヒカ氏のDVDを送り、真の平

和とは何かを考えさせてくれる同級生。普及活動には何のお役にも立たなかったけど、今なお私の原点はあの中御所の農業講習所であると思っています。

## 会員だより



### 35歳になりました！

竹内 芳次郎(平成16年3月卒)

僕の先輩で、とある有名大学を卒業した方が、こう言っていた。「農大か、東大か」と。僕の兄も、「農大行っとけば」と悔やみながら、先日、小諸で大型特殊の免許を皆伝された。農大は素晴らしい。つくづく思う今日この頃です。

近況報告。我が竹内農園は木島平村の中山間地上部に位置し、多品目複合経営をしております。僕が就農した当時は、家族のみの経営でしたが、最近ではアルバイトさんを雇用し、経営規模も増加傾向にあります。今年は父・母・兄・兄嫁・弟(自分)、嫁の家族6人衆に加え、アルバイト4人で作業をしています。さらに作業がピンチになると、近所の奥様チームや自分の子供を動員するようにしています。そんなこんなで、春からアスパラガス、ウド、ルバーブ、ズッキーニ、きゅうり、パプリカ、スイートコーン、ジャガイモ、調理用トマト、カボチャと続き、そして米。そして野沢菜、ヤーコン。ようやくフィニッシュ！雪！！枕を高くして眠れる！！若干、品目が沢山になってしまっている現状ですが、なかなか品目を減らせない状況です。なぜなら、農産物の栽培が楽しすぎるから！今、この文章を書いている7月下旬、僕たちはズッキーニの収穫に追われ、

カボチャが収穫を待っている、キュウリも元気すぎる！パプリカのハウスは暑すぎるという状況です。眠い……。昼寝最高☆

そんな竹内農園、そんな僕ですが。根底にあるのは、農大です。本当に農大に行って良かった。そう思います。僕の長女はまだ小学校5年ですが、彼女もやがて農大に行けばいいと思うくらい、農大は最高です。

当時、僕は小諸の営農学部作物専攻で稲作の栽培を学びました。農業高校では断片的にしか栽培したことがない状態でしたが、農大ではより詳しく稲作の栽培にかかわり、乾田直播栽培の研究で全国大会に出場させてもらいました。空気のよい、御牧原の大地で最愛の妻と出会ったのも、このころです。その後専門技術科に進み、野菜の害虫について未知の世界を体験しました。特に、先生と軽井沢に行って、天敵を放つときはテンション上がりました。

このような体験によって、当時就職する予定だった僕が、就農したいという思いになったのだらうと思います。農大では様々な先生に出会い、とても良くしてもらいました。迷惑をかけたり、叱られたこともありましたが、全てが今に活かされています。ありがとうございました。

農大を卒業して、10年以上経ちました。栽培技術はどんどん向上しています。停滞したり、効率が悪くなった年もありますが、失敗を生かして、何とか営農を続けられています。今年のカボチャは完璧キレイ、うまい。ズッキーニ例年より収穫多い！パプリカ元気すぎませんか？モロコシ毎日出荷、欠品なし！でも、アスパラ草すごいよ。キュウリちょっと病気っぽいよ。調理用トマトどうなってる？気を緩めず、毎日工夫して営農することが大事ですね。子供3人、しっかりと育てるためにも、いよいよ失敗も許されない年頃になってきています。天気が気ま



ぐれなのは当たり前。冷静に、クールに、賢く農業をしてみたいですね。そしていつかは大成功もしてみたい。大成功っていい響きですね。

農大卒業生が一大旋風を巻き起こし、チーム農大

という大輪の花が日本中で咲き乱れる事を祈る！！「農大か、東大か」 答えはもちろん、農大です！

## イタリア 南チロル果樹視察を終えて

塩澤 晃弘（平成 26 年 3 月卒）

昨年の 9 月 28 日～10 月 5 日の 8 日間、私はイタリア北部に位置する南チロル地方に、りんごの高密度植栽培の視察に行ってきました。このツアー参加者は、営農センターで顧問の小池洋男さんをはじめとした全農と農協の方 12 名、生産者 5 名、技術員 1 名の 18 名。視察した場所は、FENO 苗木商、ベリー生産出荷組合サントオルソラ、りんご出荷協同組合トレンティーナ、ボルツァーノ近郊のりんご栽培圃場、ラインバーク試験場、フィンチカ地区りんご圃場、CAFE 農家協同組合選果場に行ってきました。

FENO 苗木商では、ウイルスフリーの苗木生産・新品種の育成などの苗木認証制度に基づいた管理をし、9 ヶ月苗木は安定しないので、基本的に 2 年生

のカットツリー苗木を生産していました。また FNEO 自体が苗木業をしているため、輸出など世界規模の販売網を構築していました。苗木代も約 800 円／本と安く、計画的な苗木生産をしていました。



苗木圃場

サントオルソラでは、生産から販売までの一貫した供給体制で、生食にこだわった生産を行っていました。1 件あたりの栽培面積は広くないため、兼業で行う場合、収穫時期が重なることもあるので、何と組み合わせるかがカギだそうです。

りんご出荷協同組合では、全て M9 台で全圃場点滴灌水を完備し、主はゴールデンデリシャスで全体の半分を占めていました。防雹ネットは、低標高地で約 60%設置しているようです。ふじも栽培していましたが、隔年結果という難点があるため、あまり栽培していません。

ボルツァーノ近郊の圃場では、100%M9 台木を利用した密植栽培をしていました。また生産者・普及センター・出荷協同組合・試験場の 4 者が非常に密接な連携をとっているそうです。そして、ボルツァーノ周辺は土地代が 1.1 億円／ha と非常に高く、売買することができないため、全ての生産者が後継者を作り、りんご栽培を継続しているそうです。また、



ドイツ、マリエン広場にて



南チロルの景色（平地・りんご畑）

苗木栽培園地が1つありませんでした。

ラインバーグ試験場は、南チロル州立の試験場で、土壌分析や気象データ、病虫害、食害を調査し、生産者の指導活動に活かしているそうです。また、この試験場は、貯蔵試験が重要な試験の一つで、貯蔵に関しては世界一調査しているそうです。デンプン反応の他品質状態による貯蔵に適する熟度調査、適切な収穫時期を示したりすることで、貯蔵用には特別な収穫基準を設けているそうです。



きれいな壁とした栽培

フィンチカ地区りんご圃場では、7割がゴールデンデリシャスで魅せる果樹園として、アグリツーリズムが盛んな地でしたが直売所がありません。また、

摘果時期と収穫時期は、イタリア国外から州政府によって認可された季節労働者を雇用していました。そして、玉サイズは均一ですがゴロゴロいれるためオセとかがあり、食文化の違いを感じました。この地域のりんご栽培における団結精神は、歴史的地理的背景が大きく影響していました。



収穫されたりんご

CAFA 農家協同組合選果場では、生産物の100%を出荷しなくてはならない義務的なものがあります。また流水選果方式なので、短時間に大量の選果処理が可能としていました。

視察してみて、イタリアのりんご産業は、日本の10年先を進んでいると感じました。収量性の高さや技術力、圧倒的な景観には驚かされました。そして、カートベルツ氏という中心的な人物がいることで一致団結した栽培をしていて、この方の存在が非常に大きいことを感じました。

いま、私は就農3年目です。視察して試してみたいと思ったことを一つでも目に見えるような形にし、5年後ぐらいにもう一度イタリアに行き、自分の知識・技術を磨いて、今後のりんご栽培に活かしていきたいと思います。

## 厚生年金と共済年金の一元化 ～平成27年10月 どこが どうなる②～

社会保険労務士 米山 勝治（昭和35年3卒）

### \*退職改定について

退職した日から起算して、1月を経過した日の属する月から年金額を改定する。（厚生年金は退職した日の翌日の資格喪失日から1か月となっている。

⇒月末退職の場合1月の差異)

\*厚生年金の資格を取得した月にその資格を喪失し、同月内に国民年金に加入したときは厚生年金の資格は算定しない。

- \*年金給付額は100円単位から1円単位になる。  
50銭未満は切り捨て、50銭以上1円未満の端数は1円に切り上げとなる。
- \*一元化後も共済年金女子の給与比例部分の支給開始年齢は変わらず（男子と同じ）  
厚生年金報酬比例部分の女子の支給開始は男子より5年遅れ。
- \*一元化後の加給年金について  
厚生年金と共済年金を合わせて20年以上になる妻の夫についている加給年金は合算して判定される。（不支給）
- \*共済年金の職域年金相当部分は廃止され、「年金払い退職給付」となる。
- \*一元化後の遺族年金について  
民間企業に在職中の死亡であっても、それ以前に勤務していた共済年金加入期間も遺族年金に反映される。  
長期要件での遺族年金は、厚生年金と共済年金の加入期間ごとにそれぞれの加入期間から支給される。（一元化前と基本的に変わらない）  
遺族厚生年金（短期要件）を支給する実施機関は

原則として死亡日に加入していた実施期間において、他の実施機関の加入機関の分も含めて年金額を決定支給する。

- \*障がい年金について  
一元化前の障がい共済年金は、在職中は原則として支給停止。一元化後は、在職中であっても障がい共済年金は支給される。ただし、職域年金相当部分は支給停止となる見込みである。  
障がい年金の請求は、初診日のある実施機関に請求する。

- \*在職老齢年金の支給停止について  
名称の相違→厚生年金では報酬比例部分  
共済年金では給料（または給与）比例部分  
一元化前と一元化後の在職共済年金の支給停止

共済年金の受給者		現行制度	一元化後
厚生年金に加入	65歳未満	高在老	低在老
	65歳以上	高在老	高在老
共済年金に加入	65歳未満	低在老	/
	65歳以上	低在老	

～これからは一緒だよ、と会社員～

## 同級会だより



### 古希と卒業50周年の記念同窓会を開催

深澤 賢教(昭和41年3月卒)

全体写真祝賀会場



平成28年3月27日～28日「古希と卒業50周年を祝う」記念同窓会が長野市松代町国民宿舎松代荘に

おいて、27名の皆さんが参加して盛大に開催されました。

午後3時会場には次々と参加者の皆さんが集合してきましたが、中には50年ぶりにお会いする方もあり大変感激いたしました。

**開会セレモニー** 冒頭亡くなった6名の皆さんのご冥福を祈って黙祷が行われました。

続いてお茶を飲みながら近況報告をいただきました。皆さんそれぞれの地域で家庭や仕事、地域活動に頑張っている様子をお聞きし、70歳とは思えない若さを感じたパワーをいただきました。



百周年記念碑の前で記念撮

**大変盛り上がった記念祝賀会** 午後6時

30分から始まった記念祝賀会では、大西輝昭幹事長が「記念同窓会に相応しく27名と大勢の皆さんに参加いただきましたと感謝し、ゆっくり語り・食べて・飲んで・歌ってくださいと」あいさつしました。続いて千葉県地区代表東山 乾さんの乾杯で祝宴がスタートしました。

しばらく歓談後、紅白に分かれて講習所時代良く歌った青春歌16曲をカラオケで歌いました。寮歌は5番までフルコーラスで歌い、アンコールで2回、農講時代の頃がよみがえりました。

その後のカラオケでは皆さんご自慢の歌を全員に歌っていただき更に盛り上がりました。

過去の同窓会開催写真7回分、150コマをパワーポイントで見えていただく等、大いに盛り上がり終了したのが何と午後11時で4時間半の大祝賀会になりました。

その後も部屋に戻り話が続き休んだのは午前1時を過ぎていました。

また、今回記念同窓会ということもあり、会場には過去の同窓会の様子や寮歌、カラオケを映し出す、プロジェクターと大型スクリーンを幹事会で準備したこともあり、会場が一体となりよい雰囲気祝賀会になりました。

**母校農技大を訪問** 2日目は最初に松代町大室の農大を訪問しました。100周年記念碑前で記念撮影を行い、改装された寮の食堂でお茶をいただきながら

校長先生から概況をお聞きし、寮生の個室を見せていただきました。私たち中御所の寮とは大きく異なった現在の寮(個室)に時代を感じました。

**NHK大河ドラマ真田丸関係の地を見学** 松代に戻り「真田丸」関連史跡巡りでは、真田宝物館、真田邸、文武学校、海津城跡を見学しました。ガイドさんの説明を熱心に聞きました。

**次回同窓会の再会を期して** 松代荘に戻り昼をいただき次回東信地区開催(平成30年度)の再会を期して午後1時に解散となりました。

**開催内容のDVDを作成して全同窓生に送付** 幹事会では、区切りの記念同窓会ということで同窓会開催内容(セレモニー、祝賀会、農大訪問、史跡見学)を148枚の写真でパワーポイントまとめると共に直近7回の同窓会内容のパワーポイント及び記念同窓会写真データ(368枚)と併せてDVD作製し、参加者にはDVDと集合写真3枚をまた欠席者にはDVD、集合写真3枚、当日のプログラム(18ページ)をそれぞれ送付しました。

都合で残念ながら参加できなかった皆さん、また参加された皆さんから感激の手紙や電話をいただきました。幹事会の反省会では記念同窓会に相応しい会ができた事や参加者、欠席者を問わず喜んでいただき良かったことなどを語り合い美味しいお酒をいただきました。

## 永劫回帰

宮尾 一郎（昭和 51 年 3 月卒）

私たち昭和 51 年卒業生 75 名が、農業技術大学園（現『農業大学校』）を旅立った頃、キャンパスの桜は目立たない存在でした。あれから 40 年の時が流れ、今では 500 本の桜がキャンパスを覆っているそうです。桜はキャンパスの主人公になりました。

私たちの 40 年の軌跡。卒業後、3 名の方がお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。

72 名の今は？活潑地。桜のように主人公になった（なったつもりの）人達ですから。そのことは、平成 28 年 4 月 23 日（土）～一泊 2 日で開催した『51 年卒業生還暦同窓会』に結集した 26 名のエネルギーが物語っていました。

### 【還暦同窓会の風景】

場所は上山田温泉「圓山荘」。16 時受付開始。昔と変わらぬ風貌の君。おや？誰、あのお方は？・・・あっ、隣の老人クラブの出席者か～、あっ！いや、さて、こっちの受付に来たぞ！「お～っ、〇〇君か～いや～昔と変わらないなあ～（汗）」、女性陣は美魔女ぶりをいかに発揮し（笑）。再会の瞬間から 40 年前にタイムスリップして、大いに盛り上がる会話&会話。

ひと風呂浴びて、さて宴会。変わらねえな、あの頃の自啓寮の毎夜と・・・いや、今日は、あいつと、あいつも出席してねえから物足りないし、それに、何か気品があるな。そう言えば、みんな素敵な皺が増えたもんな。節度のあるクオリティの高い？会話があちらこちらで。26 名全員のスピーチ。輪になって肩を組んで満面の笑みで、懐かしのメロディと寮歌合唱。集合写真は笑顔・笑顔・笑顔。当然の 2 次会。そして、夜は更けて・・・。

お別れ。皆、桜の木に負けずに年輪を重ねようではないか。次の開催予定はオリ・パラ年。それまで、みんな達者で。あいつと、あいつも待ってるぞ。万感。

### 【あの頃】

最初に、私たちが 2 年生の頃、同胞が起こした某事件により寮祭が中止になったことについて、先輩・後輩諸氏に心からお詫び申し上げます。

さて、集中して聴いた講義&真剣に汗を流した実習&規律正しく過ごした寮生活をした人も、しなかった人も、ともあれ、全寮制・4 人部屋（先輩後輩と一緒に）の生活で得た数々の体験は、これまでの人生の中で、強く逞しく活かされてきたことは言うまでもありません。昨今の若者には理解できないかもしれませんが、プライバシーがないオープンな集団生活も乙なもの。私たちの挫けないハートはこの時に育成されたに違いありません。卒業式の後、戸谷先生（生活科担任）が贈ってくれた「人に愛される努力より、人を愛する努力をきなさい」という言葉が忘れられません。

### 【還暦・これから】

皆、それぞれのポジションで一瞬一瞬を大切に生きてきたはず。一線を退いても一億総活躍社会の一員、まだまだ、衰えるわけにはいきません。なにしろ、エネルギーに満ちあふれた 72 名ですから。これからも一瞬一瞬を大切に、ピンピンコロリまで駆け抜けて行きます。

昭和 51 年卒業生万歳。





## 歌集「聖和」複製発行と歌う喜びを求めて

依田 徳重（昭和 27 年 3 月卒）

私達は戦後の混乱の中、新しく民主主義を学び日本を平和な文化国家を建設することを、国民をあげて取り組み、特に農村青年は封建制を打破し民主的な村づくりや新技術の導入、経営の改善等を目指していた時代でした。

これは、今から 65 年も前の事であり勇躍して農業講習所へ入学しました。

同期生は 40 名、現在と同じ全寮制のもとで励ましながら学習したことは知るところですが、2 年間の中で社会を出て最も大切な村づくり、人づくりなど人間関係についての学習は少なく各自が模索しているという位であった。二年生になり新しく生活科が開設され 14 名の女子が入学してきた。このことにより寮生活は活気が出てきた。幸いにも級友である古澤忠慈君の音楽の知識は高くピアノの特技は抜群です。この技能を活かすべきと一に早く、清水重美先生を先頭に、新年度予算でピアノを購入し昭和 26 年 4 月に教室に設置された。これを機会に「自啓寮音楽研究会」を立ち上げ、古澤くんを会長に 25 名位の寮生が入会した。今までは夜は音もなくただ学習に専念していた学生諸君（私もその一人）も教室から流れるピアノの合唱に今までなかった青春の喜びや学習意欲が出て寮内は活気づいた。そして教養の向上に役立った。その時作成されたのがこの「聖和」である。今これを読み、そして歌う歌など当時の農村青年のテキストとしては程度の高い内容であり、古澤君の知識技能の高さに敬服をしている次第です。

これを複製することになったのは平成 25 年 10 月 25 日長野県農業大学校創立百周年記念式典が長野市で行われることになり、私達佐久支部の同窓会と同窓生団結して盛り上げることで寄付や記念誌、広告の注文など頂いていたことは皆様の知るところです。

式典当日は阿部長野県知事をはじめ来賓多数と同窓会員を含め 400 名の参加で盛大に取り行われ百年の重みとこれからの長野県農業の発展と大学校教育の一層の充実を祈念した大会となり私達の感動が高

められ生涯忘れられない思い出となりました。

また、塩澤義男氏の撰文「土塊百年緑永遠」この記念碑を深く心に納め語り合っていきたい。

この様に、この年は式典で話題はつきなかったが、私達同級会もこの年の 11 月 28 日に開催した。参加者は 12 名でしたが 82 歳を過ぎてこの会も最後となる会である。話題はいつも健康の事、家族の事、世相の事などであったが同窓会の百周年の記念すべき事にふれると私達も何か記念することがないかと話している中で、音楽研究会の事が出た。幸いにも古澤君が出席したので当時の 4H クラブへの活動や「聖和」作成と発行の苦労話を聞いた。そこで私の提案でこの「聖和」を複製して記念として後世に残し、末永く歌ったらどうかという提案に会員が賛成しました。

そして、その作成には提案者の私がよいという事になり代表として取り組む事になった。さて私はこのことを引受けたが原本は私が保管して利用していたので早速作成に取りかかった。しかし、なんと 65 年も前のガリ版刷の B4 版です。幸いにも私の本家の娘が活刷技術の特技を持っていたので相談し約 2 年かけて原本をもとに複製したが、本人の御苦労はもとより家族の協力を感謝した次第です。

さて、出来上がった「聖和」は 25 部印刷製本し、まず母校の大学校に寄付することにしました。

このことを同窓会事務局へ相談した所、今年 5 月 17 日の定期総会の席上、校長先生に贈呈することになり、当日私が出席して贈呈しました。3 年の及ぶこの記念歌集複製事業が終わった訳ですが、この歌集のことを会報へ発表し、部数は少ないが同窓会員はもとより福祉施設、農業関係クラブへ贈り大いに利活用していただければ誠に幸いです。

この「聖和」の概要を次に記しましたので参考にして下さい。

- I、はしがき （その時代の背景など）
- II、音楽理論 用語解説 （わかりやすく解説）

### Ⅲ、歌の正しい歌い方

### Ⅳ、歌詞（歌により音譜あり）

合計 65 歌詞（楽しい歌 17、静かな歌 20、  
元気な明るい歌 26、自啓寮歌等 2）

### Ⅴ、楽しいゲームについて

歌集にある「あとがき」は、次ページをご覧  
下さい。

以上で百周年による「聖和」の物語は終わります。

尚、この複製の歌集は現在 11 部ありますが、当時  
の寮生など希望者には先着順に郵送で贈呈します。  
郵送料として 1 名 1 冊に限り 500 円（切手も可）を  
添えて申し込んで下さい。

申込先（住所）〒384-0061

小諸市加増 3-10-27

（電話）0267-23-0629 依田徳重 宛

#### 「聖和」の複製発行にあたって

平成 25 年 10 月 25 日長野県農業大学創立百  
周年記念式典が開催されました。そしてこの  
年の 11 月 28 日に昭和 26 年度卒の私達の同級  
会を開催しました。この時農業講習所の学生  
時代の思い出として自啓寮の音楽研究会のこ  
とが話され、幸いにも古澤君も元気に出席さ  
れていましたので、当時の 4H クラブでの歌、  
ゲームの指導などのことが話されました。

その当時、自啓寮は農学科(男子)だけでし  
た。昭和 26 年 4 月から生活改良普及員の養成  
のための「生活科」が発足し、寮生活を男子、  
女子となり寮生活が盛り上がりました。

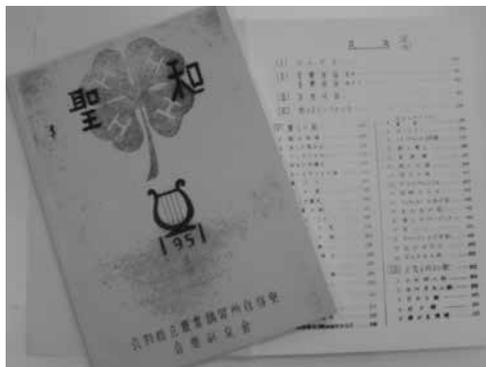


百周年記念同級会（平成 25 年 11 月 28 日 於：ホテル雄山）

特に盛り上がったのは古澤君の音楽などの知識を生かした自啓寮音楽研究会  
でした。夕食後のピアノの音と歌声はなんとも寮生活をなごませ、若い私達を  
元気づけ将来に大きな希望を与えてくれました。

そして二年間の課程を終え、卒業後は県内の農業、農村の発展に尽力してき  
ました。それぞれの任地で退職をして現在は各居地で地域の人々と交流をし、  
健常者として持前の歌、おどり、ゲーム、旅行など楽しい老後を送っています。  
この基本となったのはこの冊子『聖和』のたまものと思い、同級生の皆さんに  
賛同を得て古くなったこの冊子の複製に至りました。

これからも『聖和』を身近に置いて大きな声で歌い、ゲームをし、おどりをおどり、旅行をし、会員をはじめ同窓生各位の長  
寿を願い、ここに複製し発行いたしました。



平成 28 年度定期総会時に、依田さんより町田校長へ  
「聖和」5 冊が寄贈されました。

# 会務報告



## 平成27年度長野県農業大学校同窓会事業報告書

### 1 諸会議の開催に関する事項

- 27年5月12日 ○同窓会正副会長会 もんぜんぶら座  
 当面の事業推進日程  
 理事会及び27年度定期総会について
- 5月12日 ○監査会 もんぜんぶら座  
 会務の執行状況について
- 5月23日 ○事務局幹事会 農大会議室  
 総会対応について  
 同窓会事務局の事務分担について
- 5月28日 ○同窓会理事会 JAホールながの  
 平成27年度定期総会提出議案について
- 5月28日 ○定期総会 JAホールながの  
 功労者表彰  
 平成26年度事業報告及び収支決算について  
 平成27年度事業計画及び収支予算について  
 平成27年度会費の賦課徴収について  
 役員改選について
- 8月21日 ○同窓会正副会長会議 もんぜんぶら座  
 長野県農業大学校と農大同窓会の農大改革意見交換会の開催
- 28年2月24日 ○長野県農業大学校評議委員会 農大会議室  
 同窓会長の参加
- 3月4日 ○同窓会正副会長会議 もんぜんぶら座  
 総会・監査会の実施について  
 慶弔規程の変更について他
- 3月23日 ○同窓会常任理事会もんぜんぶら座  
 功労者表彰について  
 平成27年度事業報告及び収支決算について(見込み)  
 平成28年度事業計画(案)及び予算(案)について

### 2 組織強化・活動促進に関する事項

#### (1) 活動の援助

・支部活動への援助

特別交付金の交付	13支部	130,000円
活動交付金の交付	7支部	26,500円
熟年部活動交付金の交付	24支部	186,600円

・メモリアル同年会への援助

メモリアル同年会交付金の交付	1件	10,000円
----------------	----	---------

#### (2) 功労者表彰(平成27.5.28 定期総会 19名)

中村 武文様 篠原 圭一様 中山 玉栄様 荻原 重好様  
 宮原 友則様 清水 俊男様 堀 浩様 宮下 巻好様  
 矢澤 敏美様 矢島 正明様 村松 敏弘様 吉川 周子様  
 大池 邦明様 白澤 勝様 和田 宏様 酒井 淳様  
 垂澤 鋭雄様 徳嵩 博様 金原フクミ様

#### (3) 支部総会への出席

支部名	開催月日	総会出席者	支部名	開催月日	総会出席者
長野犀北	27. 4. 28	萩原副会長	埼玉	28. 1. 13	――
千葉	27. 5. 24	小松会長	上小	28. 2. 5	飯島幹事長
安曇野	27. 6. 11	岩垂幹事	みゆき野	28. 2. 24	萩原副会長
下伊那	27. 6. 19	大沼副会長	松塩筑	28. 3. 8	岩垂幹事
佐久	27. 7. 24	小松会長	長野南	28. 3. 13	飯島幹事長
上伊那	27. 8. 6	大沼副会長	諏訪	28. 3. 17	大沼副会長
長野西	27. 11. 21	萩原副会長			

#### (4) 支部総会開催の働きかけ 4支部

#### (5) 同窓会報の発行

平成27年9月30日

同窓会報 第13号(通巻100号記念号 A4版36頁)広告掲載23件  
 印刷部数 3,890部 印刷費 621,777円

#### (6) 農大同窓会ホームページ開設

平成27年10月1日～(農大ホームページ内)

#### (7) 弔意(連絡があったもの9件)

昭和32. 3卒 堀川 一好様 平成26年 3月 佐久  
 昭和21. 3卒 原田 敏男様 平成26年 3月 長野犀北  
 昭和22. 3卒 加藤 米司様 平成26年 7月 佐久  
 昭和37. 3卒 池田 友幸様 平成26年 10月 上小  
 昭和31. 3卒 松田田鶴子様 平成27年 2月 木曾  
 昭和17. 12卒 岩下 文次様 平成27年 5月 佐久  
 昭和40. 3卒 小林 正治様 平成27年 6月 下高井  
 昭和55. 3卒 三石 佳明様 平成27年 12月 上伊那  
 昭和47. 3卒 松永えみ子様 平成28年 1月 静岡

### 3 農業大学校教育への援助・協力

- (1) 学生募集に係る支援
- (2) 新卒業生に対する就職等協力援助
- (3) 新卒業生に対する記念品の贈呈(名入れケース付認印)
- (4) 農業大学校職員との連携

### 4 同窓会ブロック・全国組織との連携活動

- (1) 関東ブロック農業教育施設長及び同窓会会長会議 6月9～10日 長野県
- (2) 農業大学校同窓会全国連盟総会 7月15日 東京都

# 平成27年度長野県農業大学校同窓会収支決算書

## 1 平成27年度 会費会計収支決算書

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
収入金額	4,041,000	4,143,698	102,698	
支出金額	4,041,000	3,552,764	-488,236	
差引額	0	590,934		

### 収入の部

科目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1 会費	2,970,000	2,991,500	21,500	
(1) 一般会費	150,000	187,500	37,500	27年度会費94名
(2) 前納会費	0	8,000	8,000	28年度会費4名
(3) 過年度会費	120,000	96,000	-24,000	26年度会費48名
(4) 終身会費	2,700,000	2,700,000	0	終身会費会計1,020,000+1,680,000
2 雑収入	300,295	381,493	81,198	会報掲載広告料200,000 記念誌代(39冊) 証紙販売手数料他181,493
3 繰入金	120,000	120,000	0	積立金会計120,000
4 繰越金	650,705	650,705	0	
合計	4,041,000	4,143,698	102,698	

### 支出の部

科目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1 会議費	460,000	358,731	-101,269	
(1) 総会費	360,000	291,995	-68,005	旅費 会場費 懇親会費他
(2) 役員会費	70,000	53,236	-16,764	旅費 会場費等経費
(3) 諸会議費	30,000	13,500	-16,500	
2 事務費	1,721,000	1,556,887	-164,113	
(1) 賃金	1,243,000	1,239,342	-3,658	書記賃金 保険料
(2) 旅費	180,000	123,058	-56,942	支部総会 全国連盟会議他
(3) 需用費	180,000	172,216	-7,784	郵便加入者払い料金 通信費 消耗品他
(4) 交際費	30,000	2,079	-27,921	
(5) 慶弔費	50,000	3,560	-46,440	弔意電報代
(6) 報償費	38,000	16,632	-21,368	筆耕料
3 事業費	1,220,000	1,199,904	-20,096	
(1) 広報費	800,000	800,000	0	会報印刷 寄稿謝礼 会報送料
(2) 調定会員確保推進費	100,000	100,000	0	調定会員会報送料
(3) 表彰費	240,000	240,000	0	功労者表彰記念品
(4) 学校協力費	80,000	59,904	-20,096	卒業生記念品(印刷) 会長賞記念品(時計)
4 交付金	500,000	353,100	-146,900	
(1) 支部活動交付金	380,000	343,100	-36,900	特別交付金 活動交付金 熟年部活動交付金
(2) 平成27年度同年会交付金	120,000	10,000	-110,000	メモリアル同年会交付金
5 負担金	50,000	45,500	-4,500	農業大学校同窓会全国連盟会費
6 特別会計繰出金	0	0	0	
7 予備費	90,000	38,642	-51,358	農大ホームページ作成
合計	4,041,000	3,552,764	-488,236	

## 2 平成27年度 積立金会計収支決算書

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
収入金額	6,356,000	6,356,511	511	
支出金額	120,000	120,000	0	
差引額	6,236,000	6,236,511	511	

### 収入の部

科目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
基本積立金	6,355,354	6,355,354	0	
繰入金	0	0	0	
預金利子	646	1,157	511	
合計	6,356,000	6,356,511	511	

### 支出の部

科目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
繰出金	120,000	120,000	0	会費会計へ
合計	120,000	120,000	0	

## 3 平成27年度 終身会費会計収支決算書

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
収入金額	38,185,000	38,324,340	139,340	
支出金額	2,700,000	2,700,000	0	
差引額	35,485,000	35,624,340	139,340	

### 収入の部

科目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
終身会費一括払	300,000	435,000	135,000	21名×10,000円 7名×15,000円 6名×20,000円 合計34名
終身会費在学時	1,720,000	1,680,000	-40,000	86名×20,000円(1学年38名+7名・2学年34名+7名) 退学者1名×40,000円返金
終身会費繰越金	36,157,694	36,202,694	45,000	前年度繰越金
預金利子	7,306	6,646	-660	
合計	38,185,000	38,324,340	139,340	

### 支出の部

科目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
繰出金	2,700,000	2,700,000	0	会費会計へ
合計	2,700,000	2,700,000	0	

## 4 平成27年度 育英事業会計収支決算書

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
収入金額	8,260,000	8,319,733	59,733	
支出金額	720,000	0	-720,000	
差引額	7,540,000	8,319,733	779,733	

### 収入の部

科目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
育英積立金	7,778,294	7,778,294	0	
返納金	480,000	540,000	60,000	
預金利子	1,706	1,439	-267	
合計	8,260,000	8,319,733	59,733	

### 支出の部

科目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
貸与金	720,000	0	-720,000	
合計	720,000	0	-720,000	

(参考)

育英基金の財務構成 平成28年3月末日現在

科目	27年度 期末残高	説明		科目	27年度 期末残高	説明	
		27年度 増減	27年度 期首残高			27年度 増減	27年度 期首残高
寄附金	4,175,303	0	4,175,303	貸与金 貸付残高	360,000	-540,000	900,000
						卒業年度 金額	卒業年度 金額
						21年 -240,000	21年 240,000
						23年 -120,000	23年 120,000
						25年 -180,000	25年 540,000
繰入金	100,000	0	100,000	積立金	8,319,479	541,185	7,778,294
						内訳	
						返納 540,000	
						利子 1,185	
他預金	4,404,176	1,185	4,402,991				
合計	8,679,479	1,185	8,678,294	合計	8,679,479	1,185	8,678,294

## 平成27年度一括払会費納入者

卒業年次	氏名	納入区分	卒業年次	氏名	納入区分
29.03	高見沢郁生	佐久	44.03	山越万恵	長野南
33.03	寺島治兵	上高井	45.03	有賀武	上伊那
34.03	加茂みち	神奈川	46.03	宮島明博	長野南
34.03	清沢一政	中京	46.03	松島言貴	埴科
34.03	小林清二郎	上小	47.03	若林三紀夫	上小
35.03	峯澤守	下伊那	48.03	村沢博治	下伊那
36.03	荻原忠順	埴科	49.03	大日方隆茂	長野西
36.03	清水秀作	茨城	50.03	内田正行	北長野
38.03	小林弘明	松塩筑	50.03	大島誠	下伊那
40.03	岡田忠行	埴科	51.03	藤田一和	上高井
40.03	鈴木幸夫	関西	51.03	小林嘉之	みゆき野
41.03	平林隆之	安曇野	52.03	鈴木政子	埴科
42.03	横内源子	松塩筑	53.03	藤田克美	上高井
43.03	熊谷笑子	下伊那	54.03	藤田万里子	上高井
43.03	島田徳治	長野犀北	54.03	田島智恵美	上小
44.03	伊藤茂	松塩筑	54.03	栗林俊男	埴科
44.03	原さだ子	下伊那	55.03	森明男	中京

34名

## 平成28年度 長野県農業大学校同窓会事業計画

### 1 本会関係

(1) 本会活動の推進を積極的に行うため次の会議を開催する。

総会、正副会長会、理事会（常任理事会を含む）、幹事会、その他関係機関との連絡会等

(2) 組織強化・活動促進

ア 支部活動の活性化に対する援助  
イ メモリアル同年会への支援と連携  
ウ 調定会員確保対策及び会員データベースの管理

エ 同窓会報の発行

オ 同窓会ホームページの情報発信

カ 財政安定化の推進

(3) 農業大学校の教育に対する援助・協力

ア 新卒業生に対する就職就農等への協力及び記念品の贈呈  
イ 育英資金の貸付け  
ウ 教育に対する援助

エ 農大祭への参加

(4) 同窓会ブロック・全国組織との連携活動

ア 関東ブロック農業大学校同窓会長会議

イ 農業大学校同窓会全国連盟会長会議

(5) その他

ア 農業振興に係る公益活動の実施

イ 県収入証紙売りさばき所の運営

ウ 関係機関との連携強化

### 2 支部関係

支部活動の強化

(1) 支部活動奨励金の交付

(2) 功労者の表彰

(3) 会費一括払い制度の推進

(4) 支部会員名簿の整理と調定会員の確保

(5) 青年部及び熟年部の活動推進

(6) 同窓の新規就農者相談活動

(7) 各支部との情報交換

(8) 本会活動との連携

# 平成28年度長野県農業大学校同窓会収支予算書

## 1 平成28年度会費会計収支予算書

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
収入予算金額	3,943,000	4,041,000	-98,000	
支出予算金額	3,943,000	4,041,000	-98,000	
差引額	0	0	0	

収入の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1 会費	2,930,000	2,970,000	-40,000	
(1) 一般会費	150,000	150,000	0	28年度会費75名
(2) 前納会費	0	0	0	
(3) 過年度会費	80,000	120,000	-40,000	27年度会費40名
(4) 終身会費	2,700,000	2,700,000	0	終身会費会計より
2 雑収入	302,066	300,295	1,771	会報掲載広告料 記念誌・証紙販売手数料他
3 繰入金	120,000	120,000	0	積立金会計
4 繰越金	590,934	650,705	-59,771	
合計	3,943,000	4,041,000	-98,000	

支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1 会議費	460,000	460,000	0	
(1) 総会費	360,000	360,000	0	旅費 会場費 懇親会費他
(2) 役員会費	70,000	70,000	0	旅費 会場費等経費
(3) 諸会議費	30,000	30,000	0	各種会議経費
2 事務費	1,687,000	1,721,000	-34,000	
(1) 賃金	1,243,000	1,243,000	0	月16日勤務で12ヶ月 労働保険料
(2) 旅費	150,000	180,000	-30,000	支部総会 全国連盟会議他
(3) 需用費	180,000	180,000	0	郵便加入者払い料金 通信費 消耗品他
(4) 交際費	30,000	30,000	0	
(5) 慶弔費	50,000	50,000	0	弔意電報代
(6) 報償費	34,000	38,000	-4,000	筆耕料
3 事業費	1,240,000	1,220,000	20,000	
(1) 広報費	850,000	800,000	50,000	会報印刷 寄稿謝礼 会報送料 農大HPでの同窓会情報の発信他
(2) 調定会員確保推進費	100,000	100,000	0	調定外会員会報送料
(3) 表彰費	150,000	240,000	-90,000	功労者表彰記念品(15名)
(4) 学校協力費	140,000	80,000	60,000	卒業生記念品(印鑑)、会長賞記念品(時計)、 学生募集に係わる新聞広告費農大祭への協力
4 交付金	460,000	500,000	-40,000	
(1) 支部活動交付金	380,000	380,000	0	特別交付金 活動交付金 熟年部活動交付金
(2) 特別活動交付金	80,000	120,000	-40,000	メモリアル同年会交付金
5 負担金	50,000	50,000	0	農業大学校同窓会全国連盟会費(均等割+学生数割)
6 特別会計繰出金	0	0	0	
7 予備費	46,000	90,000	-44,000	
合計	3,943,000	4,041,000	-98,000	

## 2 平成28年度積立金会計収支予算書

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
収入金額	6,237,000	6,356,000	-119,000	
支出金額	120,000	120,000	0	
差引額	6,117,000	6,236,000	-119,000	

収入の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
基本積立金	6,236,511	6,355,354	-118,843	繰越積立金
繰越金	0	0	0	
預金利息	489	646	-157	
合計	6,237,000	6,356,000	-119,000	

支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰出金	120,000	120,000	0	会費会計へ
合計	120,000	120,000	0	

## 3 平成28年度終身会費会計収支予算書

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
収入金額	37,767,743	38,185,000	-417,257	
支出金額	2,700,000	2,700,000	0	
差引額	35,067,743	35,485,000	-417,257	

収入の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
終身会費一括払	300,000	300,000	0	30人を見込む
終身会費在学時	1,840,000	1,720,000	120,000	28年度92名×20,000円 (1学年43名+5名 2学年38名+6名)
終身会費繰越金	35,624,340	36,157,694	-533,354	
預金利息	3,403	7,306	-3,903	
合計	37,767,743	38,185,000	-417,257	

支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰出金	2,700,000	2,700,000	0	会費会計へ
合計	2,700,000	2,700,000	0	

## 4 平成28年度 育英事業会計収支予算書

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
収入金額	8,560,000	8,260,000	300,000	
支出金額	720,000	720,000	0	
差引額	7,840,000	7,540,000	300,000	

収入の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
育英積立金	8,319,479	7,778,294	541,185	
返納金	240,000	480,000	-240,000	25年度卒2名の返済計画による
預金利息	521	1,706	-1,185	
合計	8,560,000	8,260,000	300,000	

支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
貸与金	720,000	720,000	0	
合計	720,000	720,000	0	

平成28年度 育英基金の貸付・返済計画

項目	金額	備考
積立金残額	8,319,479	平成28年4月1日現在
貸与金(予定)	720,000	6人×年間12万円
育英基金利用者の状況		
返納金(計画)	240,000	25年度卒2名×12万円
貸与金残高	120,000	平成29年3月30日(見込)

# 平成28年度会費の賦課徴収について

平成28年度一般会費及び終身会費の賦課徴収方法については、次によるものとする。

## 1 一般会費

昭和55年3月卒業以前の会員（一括払会費に移行しない会員を含む）の調定を行い2,000円を各支部を通じて徴収する。ただし、支部所属以外の会員は直接本会事務局宛て納入する。

## 2 終身会費

(1) 終身会費は、入学から卒業までに40,000円を徴収するもので、昭和56年3月以降の卒業生、昭和62年3月以降の専攻科卒業生（指導学部卒業生は除く）から適用する。

(2) 一括払会費は、昭和55年3月以前の卒業生で54歳までの会員は25,000円、55歳から59歳までは20,000円、60歳から64歳までを15,000円、65歳以上は10,000円とする。徴収方法は、各支部を通じて徴収する。ただし、支部所属以外会員は、直接本会事務局宛て納入する。

## 3 会費納入通知及び納入期限

(1) 会費納入通知は、総会終了後に発行する。

(2) 納入期限は、次のとおりとする。

一般会費 10月末日

一括払会費 3月末日

## 会則（抜粋）

第17条2項 一般会費及び終身会費は、総会の議決を経て定めた賦課徴収方法により徴収するものとする。

## 参考

会員区分	会費種別	会 費 内 訳	
一般会員	一般会費	昭和55年3月卒業以前の会員2,000円 (一括払会費に移行しない会員を含む)	
終身会員	終身会費	在学中に納入した会員	40,000円
	一括払会費 (昭和55年3月 卒業以前の会員)	50歳～54歳の会員	25,000円
		55歳～59歳の会員	20,000円
		60歳～64歳の会員	15,000円
65歳以上の会員		10,000円	

# 長野県農業大学校同窓会会則

## (名 称)

第1条 本会は長野県農業大学校同窓会という。(以下本会という)

## (目 的)

第2条 本会は、会員相互の親睦融和を深め、広く知識・技術・情報を交換し、相互の向上発展に努めるとともに、母校の発展に寄与することを目的とする。

## (事務所)

第3条 本会の事務所は、長野市松代町大室3700番地 長野県農業大学校に置く。

## (支部の設置)

第4条 本会は、第2条の目的を達成するため、別表1の支部を置く。

## (構成員)

第5条 本会は、次の資格を有する者をもって組織する。

### (1) 正会員

旧長野県立農事試験場講習部、旧長野県立農事講習所、旧長野県修練農場、旧長野県立農会技術員養成所、旧長野県立農業技術員養成所、旧長野県経営伝習農場旧長野県農業講習所、旧長野県農業高等学園、旧長野県農業専門学園、旧長野県農業技術大学園農学部、生活学部、旧長野県農業大学校指導学部旧営農学部営農学科、長野県農業大学校農学部総合農学科、旧専門技術科を卒業した者及びこれに準ずる者。

### (2) 準会員

長野県農業大学校農学部総合農学科在学学生

### (3) 賛助会員

ア 長野県農業大学校の職員

イ その他本会の趣旨に賛成する者

## (事 業)

第6条 本会は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 本会の組織拡充と活動促進のために必要な事業
- (2) 農業大学校及び農業大学校教育への支援、協力
- (3) 農業大学校同窓会関係組織との連携
- (4) 農業振興に係る公益活動の実施
- (5) その他目的達成に必要な事項

## (役 員)

第7条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副 会 長 2名
- (3) 常 任 理 事 若干名
- (4) 理 事 若干名
- (5) 監 事 2名

2 常任理事、理事及び監事は、総会において選任し、会長、副会長は常任理事、理事の互選とする。

## (任 務)

第8条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し会長事故あるときには、会長の職務を代行する。

3 常任理事、理事は常任理事会、理事会の審議に参画するほか会務を執行する。

4 監事は会務及び会計を監査する。

## (任 期)

第9条 役員は任期は2ヶ年とする。ただし、再選を妨げない。

2 補欠のため就任した役員は、前任者の残任期間とする。

3 役員は任期が満了した場合に、後任者が就任する

までは、前任者がその職務を行うものとする。

(会議)

第10条 本会の会議は、総会及び常任理事会、理事会、支部長会とする。

(総会)

第11条 総会は年1回会長が召集する。  
ただし、必要に応じ臨時総会を開くことができる。  
2 総会は、代議員をもって開催する。  
3 総会には、予算、決算、事業計画、事業報告、会則及び規定の制定、改正、その他必要なる事項を付議又は報告する。

(常任理事会、理事会)

第12条 常任理事会は、本会の企画、その他重要事項について審議する。  
2 理事会は、総会に提出する議案その他必要とする事項を審議する。

(代議員)

第13条 代議員は、支部毎に会費納入会員数25名以内1名、26名以上50名以内2名、51名以上100名以内3名、101名以上4名とする。

(議事)

第14条 第10条の会議の議事は、出席者の過半数の賛成をもって決する。

(事務局)

第15条 本会に事務局を置き、事務局に幹事長、事務局長、幹事及び書記を置く。  
2 幹事長、事務局長、幹事、書記は会長が任命し、会務を分掌する。

(顧問、参与)

第16条 本会に顧問、参与を置くことができる。

2 顧問、参与は会長が囑託する。

(会費等)

第17条 本会の経費は、一般会費、終身会費、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

2 一般会費及び終身会費は、総会の議決を経て定められた賦課徴収方法により徴収するものとする。

第18条 本会の財産及び余剰金は、総会の議決に基づいて会長がこれを管理する。

(事業年度)

第19条 本会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(除名)

第20条 本会の名誉を毀損した会員は、総会の議決により除名することができる。ただし、この場合は出席者の3分の2以上の賛成がなければならない。

(補則)

第21条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は役員会の議決を経て会長が別に定めることができるものとする。

(附則)

平成16年6月25日一部改正  
平成19年6月15日一部改正  
平成22年6月18日一部改正  
平成23年6月10日一部改正  
平成25年5月20日一部改正  
平成27年5月28日一部改正

【沿革】

平成14年7月 5日 長野県農業大学校組織改正により、指導学部と営農学部との統合に伴い制定

旧農業大学校同窓会会則関係

大正 7年4月27日  
大正 8年7月20日 一部改正  
昭和 3年8月11日 //  
昭和17年3月 //  
昭和25年9月 //  
昭和28年4月 //  
昭和33年5月 //  
昭和42年5月20日 //  
昭和49年5月18日 //  
昭和51年6月 5日 //  
昭和54年7月28日 //  
昭和55年5月31日 //  
昭和61年5月31日 //

旧農業大学校営農学部同窓会会則関係

昭和58年6月17日 制定  
昭和62年6月25日 一部改正  
平成 9年6月26日 //  
平成11年5月27日 //  
平成12年4月26日 //

別紙1

支部名	所 属 地 域	支部名	所 属 地 域
佐 久	南佐久郡、北佐久郡、小諸市、佐久市	東 京	東京都内
上 小	小県郡、上田市、東御市	千 葉	千葉県内
諏 訪	諏訪郡、岡谷市、諏訪市、茅野市	埼 玉	埼玉県内
上伊那	上伊那郡、伊那市、駒ヶ根市	静 岡	静岡県内
下伊那	下伊那郡、飯田市	新 潟	新潟県内
木 曾	木曾郡	群 馬	群馬県内
松塩筑	東筑摩郡、松本市、塩尻市	茨 城	茨城県内
安曇野	安曇野市		
北安曇	北安曇郡、大町市	神奈川	神奈川県内
埴 科	埴科郡、千曲市	栃 木	栃木県内
上高井	上高井郡、須坂市	岐 阜	岐阜県内
下高井	下高井郡(山ノ内町)、中野市	中 京	愛知県ほか
長野北	長野市(豊野、戸隠、鬼無里)、上水内郡(飯島町、信濃町)	関 西	大阪府ほか
長野西	長野市(信州新町、中条、大岡、七二会、小田切)、上水内郡(小川村)		
長野犀北	長野市(第一、第二、第三、第四、第五、芹田、古牧、三輪、柳原、浅川、大豆島、朝陽、若槻、長沼、芋井、安茂里、吉田、古里)		
長野南	長野市(川中島、篠ノ井、更北、信更、若穂、松代)		
みゆき野	下水内郡、下高井郡(木島平村、野沢温泉村)、飯山市		

# 平成28年度 長野県農業大学校同窓会 役員名簿

## 同窓会役員名簿

役職名	氏名	所属	
会長	小松 正俊	本会	
副会長	大沼 昌弘	本会	
	萩原 正明	本会	
常任理事	松尾 悦雄	本会	
	太田 恒善	本会	
	小川 和子	本会	
	傳田 治男	本会	
	松木 久益	本会	
	柳沢 澄夫	東信・佐久	
	北澤 克彦	南信・上伊那	
	滝澤 良水	中信・松塩筑	
	佐藤 幸夫	北信・みゆき野	
理	川井 清司	本会	
	土屋 学	本会	
	小林 恵一	本会	
	伝田三重子	本会	
	宮島 明博	本会	
	神林 公雄	本会	
	長谷川雅倫	本会	
	竹上 正一	青年部東信	
		青年部南信	
		青年部中信	
		青年部北信	
	事	塩川 寿友	上小
		植松勇太郎	諏訪
		原 重一	下伊那
		下山 昭次	木曾
平林 隆之		安曇野	
平林 信一		北安曇	
堀口 保久		埴科	
坂田 和巳		上高井	
竹前 繁文		下高井	
矢島 忠男		長野北	
北澤 栄樹		長野西	
町田 良夫		長野犀北	
萩原 邦夫		長野南	
柳澤興一郎	東京		
監事	佐藤 宏道	長野犀北	
	山倉 洋一	みゆき野	

## 顧問名簿

氏名	卒業年次	勤務先・住所
町田 秀俊		農業大学校長
富岡 眞平	S17.1	長野市上松
窪田 定一	S19.12	長野市稲葉
塚田 泰樹	S19.12	埴科郡坂城町
松本 睦	S21.3	長野市桐原
山崎 宅三	S22.3	下高井郡山ノ内町
成田 敏行	S28.3	長野市東和田
北澤喜恵治	S31.3	上伊那郡箕輪町
大月 計吉	S32.3	安曇野市豊科
宮崎新一郎	S35.3	千曲市粟佐
青柳 英雄	S36.3	長野市三輪
三井仙一郎	S39.3	南佐久郡南牧村
岩垂政一郎	S41.3	松本市笹賀
中村 武文	S38.3	中野市牛出

## 参与

馬場 宏武	農業大学校副校長兼農学部長
矢沢 信二	農業大学校事務局長

## 事務局

役職名	氏名
幹事長	飯島 和久
幹事	桜井 敏宏
幹事	岩垂 恒一
書記	中沢 瑞穂

# 大 学 校 通 信

## 時代は移り変わっても

農業大 学 校 研 修 部

現在の農業大 学 校 研 修 部 の 前 身 は、 昭 和 6 年 に 農 事 講 習 所 実 習 農 場 と し て 開 設 さ れ、 昭 和 9 年 に 御 牧 ヶ 原 修 練 農 場 が 併 設 さ れ た こ と に 始 ま り ま す。

修 練 農 場 は、 そ の 後 経 営 伝 習 農 場、 農 業 高 等 学 園 ・ 農 業 専 門 学 園、 農 業 大 学 校 営 農 学 部（ 農 業 研 修 セ ン タ ー 併 設 ） に な り、 平 成 22 年 度 か ら は、 学 部 の 再 編 に よ り 営 農 学 部 は 松 代 キ ャ ン パ ス に、 そ し て 小 諸 キ ャ ン パ ス は 研 修 部 と な っ て い ま す。

ま た、 平 成 25 年 度 か ら 26 年 度 に かけ、 ほ 場 や 施 設 ・ 機 械、 宿 泊 施 設 な ど の 集 中 的 な 整 備 を 行 い、 I タ ー ン 者 の 就 農 支 援、 新 規 就 農 者 の 技 術 向 上 や 大 型 特 殊 等 の 運 転 免 許 取 得、 長 野 県 内 の 農 村 へ の 移 住 な ど を 希 望 す る 方 々 を 中 心 に 体 験 や 研 修 な ど を 行 う 施 設 と し て 体 制 整 備 が 行 な わ れ ま し た。

こ の よ う に、 時 代 の 変 遷 と と も に、 校 内 の 研 修 施 設 や 学 生 の 宿 舎 な ど も、 大 き く 様 変 わ り し て き て い ま す。

そ ん な 中、 平 成 25 年 度 か ら 26 年 度 に かけ て 行 わ れ た 大 規 模 な 整 備 事 業 で は、 い く つ か の 施 設 が 取 り 壊 し や 施 設 の 目 的 変 更 に よ る 改 修 な ど が 行 わ れ ま し た。

（ 参 考 ） ・ 取 壊 し と な っ た 施 設 「 就 農 寮 」 「 学 園 の 家 」 「 近 代 化 セ ン タ ー 」 な ど

・ 改 修 が 行 わ れ た 施 設 「 清 風 寮 」 な ど

こ れ ら の 施 設 の 中 に は 当 時 の 学 校 を 偲 ば せ る 表 札 を は じ め、 時 代 ご と の 移 り 変 わ り を 撮 影 し た 航



昭 和 49 年 頃 学 園 全 景

空 写 真、 学 生 の 授 業 や 生 活 を う か が わ せ る 教 材 や 資 料、 歴 代 の 校 長 先 生 の 写 真 な ど の 多 く の 資 料 が 保 管 さ れ て い ま し た が、 取 り 壊 し な ど に 併 せ て、 そ の 多 く の 資 料 等 の 中 か ら 「 こ れ は、 残 し て お き た い。 」 と い う も の を 当 時 勤 務 し て い た 先 輩 職 員 の 皆 さ ん を 中 心 に 仕 分 け を 行 い、 現 在、 研 修 部 本 館 に 保 管 し て い ま す。

こ の 保 管 さ れ て い る 数 々 の 資 料 等 を 見 る と、 当 然 な が ら 農 業 が 今 以 上 に 重 要 な 産 業 で あ っ た こ と や、 学 生 た ち の 農 業 に 関 す る 知 識 や 技 術 等 の 習 得 に 向 け た 熱 い 思 い が 伝 わ っ て く る よ う な 感 じ が し ま す。

今 後、 こ れ ら の 資 料 を 整 理 し、 卒 業 生 の 皆 さ ん な ど が 訪 れ た 時、 懐 か し く 当 時 を 思 い 起 す き っ か け と な る よ う、 ま た、 当 時 の 先 生 や 先 輩 の 皆 さ ん の 思 い な ど が 少 し で も 後 世 に 残 せ る よ う 整 理 で き れ ば と 考 え て い ま す。

し か し、 残 念 な が ら 空 き 教 室 は あ る も の の、 ど の よ う に 展 示 し た ら よ い か 思 案 し な が ら の 作 業 で、 い つ に な っ た ら 完 了 す る か は 未 定 の 状 況 で す の で、 ど う ぞ 気 長 に 見 守 っ て い た だ け れ ば と 思 い ま す。

現 在、 農 業 大 学 校 研 修 部 と な り、 い わ ゆ る 「 学 生 」 は お り ま せ ン が、 職 員 や 研 修 生 に も 展 示 品 等 を 見 て も ら い、 当 時 の 農 業 情 勢 や 先 生、 学 生 が 抱 い て い た 農 業 に 対 す る 思 い な ど に 接 し つ つ、 今 後 の 担 い 手 の 確 保 育 成 や 研 修 業 務 な ど に 携 わ っ て い け れ ば と 思 っ て い ま す。

最 後 に、 同 窓 会 の 皆 さ ま に も、 引 き 続 き 研 修 部 へ の ご 支 援、 ご 協 力 を い た だ け れ ば 幸 い で す。



# Canpus Life ～キャンパス情報～

2015 年  
8月26日



毎回たくさんのお客様が来店  
学生は張り切って接客しています。

## 農大マルシェ「のうだい屋」

消費者のみなさんとの交流や、学生の販売体験を目的に、農業大学校で生産された「旬」の農産物を直売する「農大マルシェ『のうだい屋』」を昨年8月26日（水）から開店しました。

本年度からは、授業に位置づけ、毎月2回開店しています。

みなさんのご来店お待ちしております。

10月 1日

## 農大ホームページのリニューアル <http://www.nodai-nagano.ac.jp>

これまで県のホームページに間借りしていた農大のホームページが、独立したサーバーを得てリニューアルしました。

特徴は以下のとおりです。

- アカデミック・ドメイン「AC. JPドメイン」の取得  
AC.JPドメインとは、大学などの高等教育機関のためのドメイン  
全国の農業大学校では初
- 学生専用ページの開設  
IDとパスワードを設定した学生専用ページの設置
- 同窓会のページも刷新



↑QRコードはこちら

10月  
～11月



長野市内の製麺会社と打ち合わせ



完成した「農大うどん」

### 新商品「農大うどん」完成

農大うどんプロジェクトによる「農大うどん」、自分たちで作ったラベルを貼って、販売しました。

うどんプロジェクトのリーダーの堀内さんは、いろいろな取材が来ていたので、対応も忙しかったようですが、楽しそうでした。

農大祭で販売したのですが、約500パックが20分で完売しました。

今年も農大祭で販売します。農大祭は11月5日（土）です。

2016年  
4月12日



入学式が厳粛に実施されました

### 平成28年度入学式

農業大学校の総合農学科と実科・研究科の合同入学式が行われ、学生85人が入学しました。本年度は、女子学生が19人と2割を越え、「農業女子」という言葉が聞かれる中で、「農大女子」も人気が出てきているようです。

入学生の誓いの言葉では、入学生代表の宮入さんから「私たちは農業に志をもつ若い人の先頭にたち、日本の農業や農村を元気にしていく原動力なる・・・。」との力強い決意表明がありました。

農大は、さらにパワーアップの予感がしました。

6月～

### 「オープンキャンパス」と「サンデー見学会」

8月3日と4日の両日、今年のオープンキャンパスを開催しました。今年は昨年以上の来場者がありました。また、入学を考えている方を対象に、第2、第4日曜日にもサンデー見学会を開催しています。近年、農大は人気急上昇！！受験倍率は約1.6倍となっております。（^^）v



# 農業大学校教職員名簿

校長	町田 秀俊	学校総括
副校長	馬場 宏武	校長補佐

## (事務局)

職名	氏名	主な担当
事務局長	矢沢 信二	事務局総括
副幹事兼事務局次長	中村 俊之	学生募集 入学試験 出納員事務
主幹	坂口 孝雄	庶務 学校行事
主任	鶴見 薫	庶務 運転 財産管理
主任(再任用)	原 太市	運転 生産物販売
主任(再任用)	片桐 秀一	予算・決算
非常勤職員	金子 寿明	庁務 運転 財産管理

## (農学部)

職名	氏名	主な担当	
農学部長(兼)	馬場 宏武	農学部総括 農業政策 農業団体論 学校評価	
総合農学科	就農推進技幹	西谷 務	就農支援・相談 実践経営者コース総括 農業経営演習
	学科主任兼教授	宮川 仁志	2学年主任 予算編成 進路指導 特別教養演習 畜産学総論
	学科主任兼教授	飯島 和久	1学年主任 現地体験実習 農場運営 農業経営学 学生部長
	教授	吉田 太郎	教務 生物学 情報処理論
	教授	店橋 博	1学年作物コース担任 作物学総論・各論
	教授	日臺 修好	実践経営者コース1学年担任 農業簿記(実践コース)
	専門幹兼教授	武井 正明	2学年野菜コース担任 野菜園芸学各論 植物防疫論(実践コース)
	教授	月岡 光彦	1,2学年畜産コース担任 畜産学各論 家畜生理衛生学
	教授	桜井 敏宏	1学年果樹コース担任 果樹園芸学総論・各論
	教授	岩垂 恒一	2学年果樹コース担任 果樹園芸学各論 農業簿記
	教授	高橋 宏典	実践経営者コース2学年担任
	教授	福本 匡志	2学年作物コース担任 作物学各論 植物防疫学
	教授	由井 素子	1学年花きコース担任 花き園芸学各論
	主任教授(再任用)	袖山 栄次	1学年野菜コース担任 野菜園芸学総論・各論
	主任教授(再任用)	丸田 一成	2学年花きコース担任 花き園芸学総論 植物生理・栽培論 生物学 農業薬剤論 体育
	主任(再任用)	小山 昭男	農業機械管理 ほ場管理
	特別教授	倉石 芳夫	作物ほ場管理
	特別教授	白田 敬一	家畜飼養管理
	特別教授	北村 延隆	野菜ほ場管理
	特別教授	栗林 賢一	花きほ場管理
特別教授	青木 隆一	果樹ほ場管理	
特別教授	赤堀 峰晴	実践経営者コースほ場管理(小諸駐在)	
非常勤職員	吉澤 久江	庶務	
後援会書記	坂口 京子	後援会	
同窓会書記	中沢 瑞穂	同窓会	

## (研修部) 小諸

職名	氏名	主な担当
研修部長	中澤 節男	総括
教授	田中 武史	就農コーディネーター 作物(畑作)研修
教授	高橋 啓司	就農コーディネーター 果樹研修
教授	加科 秀喜	就農コーディネーター 作物(水稲)・施設野菜研修 機械研修
教授	中村 康志	就農コーディネーター 果樹研修
教授	町田 博美	就農コーディネーター 花き・露地野菜研修
主幹	大森 益男	庶務 財産管理 機械研修
主任	金澤 毅	作物研修 農業機械研修・管理
特別教授	清水 智	農場管理 環境整備
特別教授	掛川喜久雄	農場管理 環境整備
非常勤職員	関 よしみ	庶務

# 平成29年度入学試験案内

## 29年度入試の変更点

- 一般入学試験 総合農学科農業経営コース前期日程及び実科研究科の合格発表時期を年内発表としました。
- 総合農学科実践経営者コースの一般入学試験の実施方法を変更しました。
  - (1)二段階選抜方法(第1次試験、第2次試験)を一段階選抜方法に変更
  - (2)入学試験の実施回数を年1回から年2回に変更
- 実科研究科の一般入学試験の提出書類に「職歴等の調査書」を加えました。

## I 総合農学科

### 1 実践経営者コース

主に社会人を対象に就農意欲の高い方で、経営センスや農業技術を習得したい方を募集します。

学 科・コース	修 業 年 限	募 集 人 員
総合農学科 実践経営者コース	2年	10人

\*一般入学試験で、定員を満たさなかった場合は、再募集を実施することがあります。

### 2 農業経営コース

学 科・コース	修 業 年 限	募 集 人 員
総合農学科 農業経営コース (作物・畜産・野菜 花き・果樹専攻)	2年	40人 (うち、推薦入学者がお おむね50%。一般入学者 (前期日程、後期日程) がおおむね50%)

\*一般入学試験前期日程試験終了時の合格者数により、一般入学試験後期日程試験を実施しないことがあります。一般入学試験後期日程試験を実施しない場合は、本校ホームページに掲載するとともに、県内の高等学校等に通知します。

## II 実科・研究科

学 科	修 業 年 限	募 集 人 員
果樹実科及び研究科	各1年	実科 合計50人 〔うち、推薦入学者 おおむね50%〕
野菜花き実科及び研究科		
畜産実科及び研究科		研究科 合計50人 〔うち、推薦入学者 おおむね50%〕
南信農業実科及び研究科		

\*推薦入学試験及び一般入学試験で定員を満たさなかった場合は、再募集を実施することがあります。

### Ⅲ 入学願書の受付期間・試験日

#### 1 総合農学科 実践経営者コース

試験別	願書受付期間	試験日	
一般入学	第1回	平成28年10月13日(木)～平成28年11月1日(火)	平成28年11月17日(木)
	第2回	平成29年1月11日(水)～平成29年2月1日(水)	平成29年2月16日(木)

#### 2 総合農学科 農業経営コース

試験別	願書受付期間	試験日	
推薦入学	平成28年10月13日(木)～平成28年10月26日(水)	平成28年11月7日(月)	
一般入学	前期	平成28年11月22日(火)～平成28年12月7日(水)	平成28年12月19日(月)
	後期	平成29年1月11日(水)～平成29年1月26日(木)	平成29年2月9日(木)

\*一般入学試験前期日程試験終了時の合格者数により、一般入学試験後期日程試験を実施しないことがあります。一般入学試験後期日程試験を実施しない場合は、本校ホームページに掲載するとともに、県内の高等学校等に通知します。

#### 3 実科・研究科

試験別	願書受付期間	試験日
推薦入学	平成28年10月13日(木)～平成28年10月26日(水)	平成28年11月7日(月)
一般入学	平成28年11月22日(火)～平成28年12月7日(水)	平成28年12月19日(月)

### Ⅳ その他

- 1 大学の概要・教育内容及び授業料等の経費については「長野県農業大学校学校案内」をご覧ください。
- 2 長野県農業大学校学校案内、入試案内、入学願書、過去（2年間）の入試問題を郵送で希望する場合は、必ず希望する学科名を明記し、総合農学科農業経営コース及び実科研究科は400円切手を、総合農学科実践経営者コースは205円を貼ったあて先記載の返信用封筒（角形2号）を同封し、  
〒381-1211 長野市松代町大室3700 長野県農業大学校事務局 まで請求してください。
- 3 入学試験に関するお問い合わせは下記の入学願書の提出先に行ってください。

ア 総合農学科（実践経営者コース・農業経営コース）

TEL 026-278-5211 〒381-1211 長野市松代町大室3700 長野県農業大学校事務局

イ 果樹実科・研究科

TEL 026-246-2411 〒382-0072 須坂市大字小河原492果樹試験場内

ウ 野菜花き実科・研究科

TEL 0263-52-1148 〒399-6461 塩尻市大字宗賀字床尾1066-1野菜花き試験場内

エ 畜産実科・研究科

TEL 0263-52-1188 〒399-0711 塩尻市大字片丘10931-1 畜産試験場内

オ 南信農業実科・研究科

TEL 0265-35-2240 〒399-3103 下伊那郡高森町下市田2476南信農業試験場内

- 4 長野県ホームページで入試情報を提供しています。

HPアドレス：<http://www.nodai.nodai-nagano.ac.jp/>

長野県農業大学校ホームページ（農大専用Web site）

HPアドレス：<http://www.pref.nagano.lg.jp/nogyodai/boshu/index.html>

長野県公式ホームページWeb site信州→長野県農業大学校→学生募集

「学校案内等ダウンロード」「試験案内等ダウンロード」のコーナー

# 在学生の状況

平成 28 年 4 月 1 日現在

		1 学 年			2 学 年			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
総合農学科	実践経営者コース	5		5	6		6	11		11
	農業経営コース	30	13	43	28	10	38	58	23	81
	計	35	13	48	34	10	44	69	23	92
実科	果 樹	12		12	/			12		12
	野菜花き	2	2	4				2	2	4
	畜 産	2	3	5				2	3	5
	南信農業	1		1				1		1
	計	17	5	22				17	5	22
研究科	果 樹	9		9	/			9		9
	野菜花き	4	1	5				4	1	5
	畜 産			0				0		0
	南信農業	1		1				1		1
	計	14	1	15				14	1	15
合 計		66	19	85	34	10	44	100	29	129

# 長野県農業大学校卒業生の進路状況

(1) 総合農学科平成 27 年度進路等状況

(人、%)

進 路 先	農学部全体		総合農学科既存コース				
	人数	割合	人数	割合	進路先の名称(内定・合格含む)		
就農	自家農業	18	52.9	1	2.9		
	農業法人等	11	32.4	6	17.6	ベジーツ(御代田町)、八ヶ岳農産(茅野市)、七久里農園(飯田市)、ピアブランカ(飯田市)、結の里(下條村)、上條信太郎(松本市・里親研修)	
就職	公務員	国家公務員					
		県職員	4	11.8	2	5.9	長野県 2
		市町村職員	1	2.9	1	2.9	山ノ内町
	農 協	17	50.0	16	47.1	長野八ヶ岳、信州うえだ、信州諏訪、上伊那、みなみ信州 2、木曾、松本ハイランド、大北、グリーン長野、須高、ながの、中野市、北信州みゆき 2、いみず野(富山)	
	農業団体	1	2.9		0.0		
	農業関連企業	9	26.5	8	23.5	アグロ信州、トマツ本店、関東甲信クボタ、ヤンマーアグリジャパン、サセキ信越 2	
	一般企業等	2	5.9		0.0		
進 学	17	50.0		0.0			
そ の 他	0	0.0	0	0.0	就職活動中		
合 計	80	235.3	34	100.0			

(2) 総合農学科年度別進路等状況

(人、%)

進路先・年度		5年間計		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	備 考
就農	自家農業	15	6.4	4	4	3	3	1	
	農業法人等	31	13.1	9	5	6	5	6	
就職	公務員	国家公務員							
		県職員	13	5.5	2	3	4	2	2
		市町村職員	3	1.3				2	1
	農 協	74	31.4	10	13	18	17	16	
	農業団体	3	1.3	1	1	1	0	0	
	農業関連企業	47	19.9	10	11	11	7	8	
	一般企業等	19	8.1	3	4	4	8	0	
進 学	14	5.9	7	3	1	3	0		
その他(未定)	17	7.2	7	4	2	4	0		
合 計	236	100.0	53	48	50	51	34		

## ～同窓会員の皆様へのお知らせ～

### 1 メモリアル同年会に祝金を交付します

卒業後、10・20・30・40・50・60・70周年の同年会を開催する場合に、同年会責任者（幹事）からの申請書提出により、祝金10,000円を交付します。

今年度の卒業対象年次は、昭和21年3月卒、昭和31年3月卒、昭和41年3月卒、昭和51年3月卒、昭和61年3月卒、平成8年3月卒、平成18年3月卒です。

なお、上記対象年次の前後1年の卒業年次で、メモリアル同年会を開催する場合も受け付けますが、予算範囲内での交付となるため、先着順となります。

文書で同窓会事務局に申し込んでください。

### 2 農大同窓会100周年記念誌「土塊百年緑永遠」の頒布

100周年記念誌（DVD付き）の余部があります。購入希望者は代金を添えて同窓会事務局に申し込んでください。価格は送料込みで5,000円/1部です。

### 3 会費一括払いのお勧め

昭和55年3月卒業以前の会員は、会費一括払いで終身会員に移行できます。一括払い会費は、50～54歳 25,000円、55～59歳 20,000円、60～64歳 15,000円、65歳以上 10,000円です。

問合せ、申し込みは事務局まで。

### 4 会員の住所等変更の連絡と所属支部

会員に住所等の変更があった場合は同窓会事務局に連絡ください。また、会員の所属する支部は住居地の属する支部ですので支部活動にご協力をお願いします。

### 5 同窓会メールアドレスが新しくなりました。

メールアドレスはこちら

[dosokai@nodai-nagano.ac.jp](mailto:dosokai@nodai-nagano.ac.jp)

## ～編集後記～

ブラジルで開催された夏のオリンピックがフィナーレを迎えました。

長野県は福井県、沖縄県とともに、これまで夏のオリンピックでは個人でのメダルを獲得した選手が1人もいなかった県でしたが、今回バドミントン女子と競歩で2個のメダルを獲得し、大きく躍進することができました。国際的なスポーツ大会で日本人が活躍すると感激とともに、日本人であることに誇りを感じる方も多いでしょうが、今回長野県人の活躍は、より強く感激を得ることが出来たのではないのでしょうか。

さて、会員の皆様のご協力により今年度の会報を発刊する運びとなりました。原稿を寄稿いただいた皆様並びに広告をご掲載いただいた事業所等の広告主の皆様には心より感謝申し上げます。

農業大学校におきましては、学校改革により新築された学生寮などの効果により、本年度は総合農学科農業経営コース（既存コースより本年度名称変更）の入学生は43人と、定員を超える学生が入学しております。また、「農業女子」という言葉が頻繁に聞かれる中で、女子学生も13人とその割合が増加しております。

さらに、本年3月卒業生の進路決定が昨年12月までに100%となっており、“進路実現力”でも全国トップレベルであり、創立100周年後の次の100年に続く躍進の兆しを得ております。

巷では、18歳人口減少の影響から、4割の私立大学が定員を満たさず、経営困難と言われる時代に、長野県農業大学校は地域の人気校として地位を確立しております。

このことにつきましても、同窓会の会員の皆様のご活躍やご協力あつてのことと感謝申し上げます。

最後になりますが、この会報が同窓生の皆様に一層親しまれるとともに、長野県農業大学校同窓会の発展に寄与できれば幸いです。

NEW RTS SERIES

# RESPA

レスパ

REVOLUTION × SPARK = RESPA

RESPA の革新。  
それは意のままに操る喜び。

こだわりモード



アップストップPTO  
(Q型)



オートブレーキ (Q型)



RTS18 (18.5PS) ・ RTS20 (20.0PS)  
RTS22 (21.9PS) ・ RTS23 (23.5PS) ・ RTS25 (25.0PS)

**株式会社 中セ本信越** 長野支社  
長野市川中島町御厨字八乙女1536番地6  
TEL. 026-283-1680

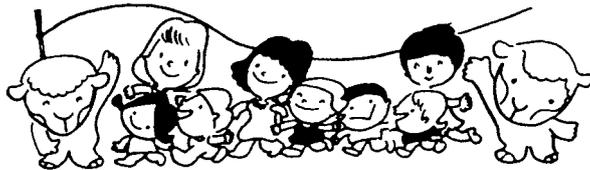


安心を、未来へつなく食料自給率1%アップ運動  
**FOOD ACTION NIPPON**

## 農大祭のご案内

### 農大祭

- 期日 平成28年11月5日(土)午前9時30分～12時00分まで  
(但し、農産物販売は生産物が終わり次第終了)
- 場所 長野県農業大学校 長野市松代町大室3700
- 内容 学習成果の展示  
農産物の販売  
軽食等の販売



“お知らせ” 今年は同窓会によるもちつきが行なわれます!

所得の向上は情報の収集から

◆長野県唯一の  
園芸専門情報誌を購読しましょう◆

「信州のそ菜」 (月刊誌、A4版50ページ)

野菜・花・きのこ栽培技術記事、発行月の農作業メモ、流通情報、優良事例紹介など

「信州の果実」 (月刊誌、A4版70ページ)

“リンゴ高密度植わい化栽培”をはじめ、果樹全般の栽培技術記事、発行月の果樹作業暦、流通情報、優良事例紹介など

**ただ今申し込み受付中**

●申し込み先・お近くのJAへ

●年間購読料 信州のそ菜・信州の果実 4,904円 (消費税・送料込み)  
(県内JA組合員)

発行所 〒380-8614 長野市南長野北石堂町1177の3

**JA全農長野**

TEL (026)236-2020 (JA長野県営農センター)

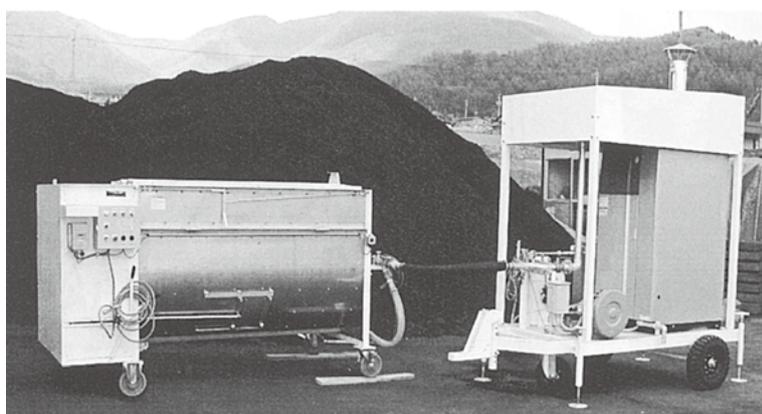
臭化メチルの代替技術としてご検討下さい

蒸気消毒対応型

**HSM型 多目的ミキサー**  
**SZ型 蒸気・熱風ボイラー**

園芸・野菜農家の  
土壌消毒に  
最適です。

また、きのこの  
廃床処理にも  
ご利用頂けます。



(写真： 協全 HSM-1800

三浦工業 SZ-160)

きのこ栽培用各種機械・土壌消毒対応型ミキサー製造元

**協全商事株式会社**

〒381-2215 長野市稲里町中氷鉋字上荒沢435 TEL026-285-2216 TEL026-283-0723

すべては一粒のたねから・・・

種と苗の専門店

田 根 屋  
(有) 小 山 種 苗

代表取締役 小 山 裕 児

取締役会長 小 山 年 一  
(昭和32年卒)

〒384-0014 小諸市荒町2-1-17

TEL 0267-22-0574 FAX0267-22-3993

日本種苗協会会員店



社団法人

日本種苗協会

会員番号 16-020号

苗半作 “苗作りは優れた技術、  
優れた設備のしなの培養土で”

育苗用培養土は培土作り38年の歴史を誇る信濃培養土で

— ◎好評発売中 —

- 水稲専用培土、軽量培土
- マット用覆土
- 条播用細粒培土
- 園芸専用培土
- 花専用培土
- 野菜専用  
セル成形苗用育苗培土



“すべての培土でご希望の混合・配合致しますので御用命下さい”

信濃培養土株式会社

代表取締役 香 坂 勝

本 社 0267-22-5439 FAX 0267-22-5441  
佐久工場 0267-88-3888 FAX 0267-88-3883  
鹿沼工場 0289-75-4585 FAX 0289-75-1167

当協会は、農作物に発生する病害虫、雑草の効果的で安全な防除を推進するため、以下の事業を行っています。

- 植物防疫に関する調査、試験研究及び指導
- 植物防疫に関する講演会、講習会の開催
- 「長野県農作物病害虫・雑草防除基準」の発行・配布
- 防除技術・資材の普及及び情報提供

## 一般社団法人 長野県植物防疫協会

〒380-0837 長野市大字南長野字幅下667-6 長野県土木センター6階  
電話 026 (235) 3510 FAX 026 (235) 3583  
E-mail : syokbkkyo@trust.ocn.ne.jp  
<http://www.nagano-ppa.jp/>

### 須坂研究所

〒382-0072 須坂市大字小河原492 長野県農業試験場内 電話 026 (248) 2637

### 塩尻研究所

〒399-6461 塩尻市大字宗賀字床尾1066-1 長野県野菜花き試験場内 電話 0263 (88) 5856

### 南信研究所

〒399-3103 下伊那郡高森町下市田2476 長野県南信農業試験場内 電話 0265 (35) 8396

「長野県農作物病害虫・雑草防除基準」を活用して農薬の安全使用を

# 明日の「信州」を印刷する、PO印刷。

Performance&Originality ～輝く未来への1ページ～



JAグループ



## PO印刷株式会社

(フォトオフセット協同印刷株式会社)

本社 〒381-2247 長野市青木島3丁目3番地3  
Tel.026-285-2600(代) Fax.026-284-7028

JAビル営業所 〒380-0826 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 JA長野県ビルB1  
Tel.026-236-2433(代) Fax.026-236-2430

URL:<http://www.janapo.co.jp/>

おかげさまで15周年



人に、街に、やさしさを



ご自宅の玄関とスクールを結ぶ無料送り迎えサービス実施中

長野県公安委員会指定

**ドリームモータースクール昭和**

〒381-2224 長野市川中島町原 639 ☎0120-355-106

長野県公安委員会指定

**ドリームモータースクール須坂**

〒382-0098 須坂市墨坂南 2-16-1 ☎0120-553-106



軽自動車から  
乗用車・RVまで  
常時100台展示販売  
土日祝祭日も営業しています

あなたの  
愛車を  
高価買取

整備工場完備だからアフターも万全!!  
車検・一般整備・钣金・塗装おまかせ下さい



お問い合わせは JA自動車窓口・JAオート長野へ

車の販売から整備迄お気軽にご相談下さい。

各種新車・中古車販売、民間車検工場、板金塗装

財団法人道路システム高度化推進機構認定 ETCセットアップ登録店

**株式会社 ジェイエイオート長野**

□企画開発室 TEL(026)284-4865 FAX(026)283-0154  
□管理 部 TEL(026)284-4865 FAX(026)286-7732

**JA事業部**

□領域 課 TEL(026)286-7711 FAX(026)283-0154  
□特 販 課 TEL(026)284-4833 FAX(026)283-0154  
□松 本 営 業 所 TEL(0263)87-5755 FAX(0263)73-8588

**中古車部 中古車課**

□オートバルながの南バイパス店 TEL(026)254-7175 FAX(026)254-7176  
□オートバルながの長沼店 TEL(026)295-1044 FAX(026)295-1045

**北信事業部**

□中央整備センター TEL(026)284-4832 FAX(026)283-0154  
□板 金 塗 装 課 TEL(026)284-4832 FAX(026)283-5304  
□JAながのオートバル 西山センター TEL(026)267-2324 FAX(026)267-2325  
□信 州 新 町 TEL(026)267-2352 FAX(026)267-2352  
□JAながのオートバル 東部センター  
□飯 綱 営 業 所 TEL(026)253-2110 FAX(026)253-2120  
□長 沼 営 業 所 TEL(026)295-1044 FAX(026)295-1045  
□JAながのオートバル ずこうセンター TEL(026)246-2628 FAX(026)248-0231  
□JAながのオートバル ちくまセンター TEL(026)274-7716 FAX(026)274-7726  
□JAグリーン長野オートバル 藤ノ井センター TEL(026)292-1654 FAX(026)293-2912

**中信事業部**

□JAあづみオートバル TEL(0263)72-3708 FAX(0263)72-7815  
□JA大北オートバル 北部センター TEL(0261)72-3920 FAX(0261)72-3922  
□JA大北オートバル 南部センター TEL(0261)23-7205 FAX(0261)21-1137

## タネ・苗のことなら原種センターへ！

長野県農業関係試験場が育成した個性豊かな穀物や野菜等の種子、イチゴ原苗、果樹原穂木、きのこ母菌などを販売しております  
ご注文は県内の各JA・種苗店へどうぞ



一般社団法人 長野県原種センター

〒381-1211 長野市松代町大室2417-3

TEL : (026) 278-9229 FAX : (026) 278-9369

# (株)長野中央園芸市場ナガノ

FAX(026)251-0760

長野市西和田1丁目29番40号 ☎代表(026)243-4231 FAX (026)243-4742

夜間専用 FAX(026)243-2813

## 長野中央園芸市場マツモト

中信営業所 松本市笹部1-5-31 ☎(0263)27-2108・27-3979 FAX(0263)29-0225

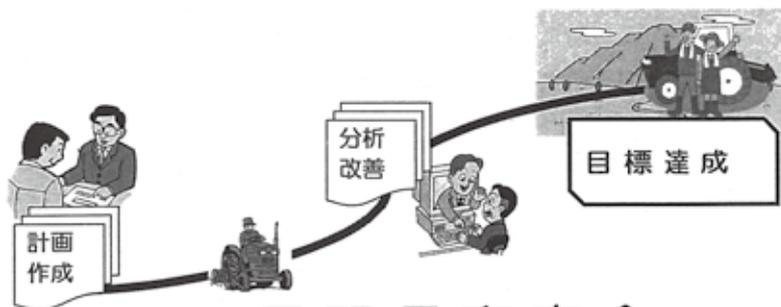
南信営業所 伊那市福島字下河原440 ☎(0265)73-4439・73-4129 FAX(0265)74-1072

佐久営業所 佐久市大字長土呂字中聖原64-14 ☎(0267)67-6020・67-6023 FAX(0267)66-1018

上越営業所 上越市夷浜新田445-4 ☎(025)544-7843 FAX(025)544-7841

(株)太田園芸花卉卸売市場 群馬県太田市大字新野972-1 ☎(0276)31-8901

～よりよい畜産は経営診断から～



一般社団法人 **長野県畜産会**

〒380-0936 長野県長野市大字中御所字岡田 30-9  
TEL026-228-8809 Fax026-223-0264  
E-mail info@nagano.lin.gr.jp  
URL (ホームページ) <http://nagano.lin.gr.jp>



人と人との絆  
次世代につなぐ協同の輪



**グリーン長野農業協同組合**

〒388-8511 長野市篠ノ井布施高田961-2  
TEL.026-293-2000 FAX.026-293-6060  
<http://www.ja-grn.iijan.or.jp/>

## 技術優秀 サービス満点の商協組合員企業

- ◎組合加盟数 県下農業機械販売店 73社
- ◎農業機械整備技能士数 (国家検定合格者)  
1級技能士 228名 / 2級技能士 507名
- ◎農業機械整備施設認定工場 (長野県知事認定)  
大型整備施設28工場 中型整備施設75工場 小型整備施設19工場

組合加盟企業は、優秀な技能士と知事認定整備工場で、農業機械の安全使用、整備・点検・修理まで、すべてのサポート、サービスを行っています。

◎農業機械のことはプロの農業販売店へどうぞ!!

**長野県農業機械商業協同組合**

〒380-0936 長野市岡田町156 TEL 026-226-5368

きのこのことなら

# 千曲化成

弊社はキノコのビン栽培のパイオニアとして、多方面で栽培者のサポートをしています。

- きのこ栽培用PP製品の製造・販売 … ビン、キャップ、コンテナ等
- 種菌の製造・販売・栽培技術指導 … えのきたけ、ブナシメジ、エリンギ  
なめこ、ヒラタケ、マイタケ等
- きのこ栽培用資機材の販売
- きのこ栽培施設的设计・施工
- 熱交換塗料(暑さ・省エネ対策)の施工

## 株式会社 千曲化成

〒389-0802 長野県千曲市大字内川1101  
 TEL 026-276-3355 FAX 026-276-6182  
 URL : <http://www.chikumakasei.co.jp/>  
 E-mail : [staff@chikumakasei.co.jp](mailto:staff@chikumakasei.co.jp)

## きのこ種菌研究所

〒389-0803 長野県千曲市千本柳1400-1  
 TEL 026-214-8503 FAX 026-214-8504  
 E-mail : [research-sec@chikumakasei.co.jp](mailto:research-sec@chikumakasei.co.jp)



登録品種  
チクマッシュT-011

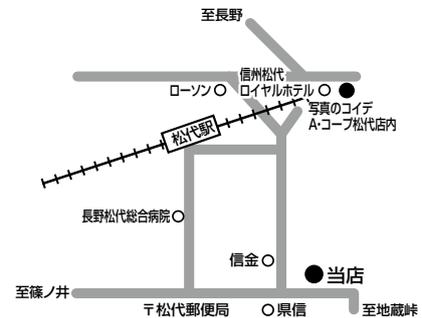
早い♡きれい  
 デジカメプリント  
 毎週木・日曜日25%引き

タッチパネルで簡単注文  
 A・コープ店ではお買物の間に  
 仕上ります。

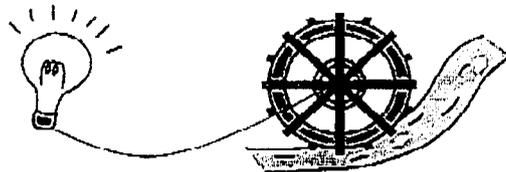
# 写真のコイデ

長野市松代町松代577  
 TEL:026(278)2558  
 長野市松代町西寺尾1450  
 TEL:026(278)0012

写真は我家の宝物  
 <記念の一枚はプロの技で永遠に>  
 卒業・入学・七五三・成人式  
 証明写真・出張撮影etc…  
 心を込めて撮影致します。



～ 小さな水車 大きな未来 ～  
 農業用水を活用した小水力発電を推進します



## 長野県土地改良事業団体連合会 (水土里ネットながの)



〒380-0838  
 長野市大字南長野字宮東452番地の1  
 長野県土地改良会館内  
 TEL:026-233-4281  
<http://www.nag-doren.or.jp>

“農業は国の本なり”  
「農地は宝物」

(一社)長野県農業会議は、  
農地を守り、担い手をサポートします！



**農業会議・農業委員会は様々な  
相談に答えます！**

- 農地の貸借・売買・転用
- 遊休農地の解消
- 新規就農希望者の相談など

(一社)長野県農業会議 〒380-8570 長野市大字南長野字幅下 692-2  
農業委員会ネットワーク機構 TEL 026-234-6871 FAX 026-235-2454 E-mail: 24kaigi@nca.or.jp  
<http://www.naganokaigi.com/>



仲間と共にくだもの心を！

一般財団法人 **長野県果樹研究会**

県内唯一の果樹専門紙

「信州くだものニュース」の購読者募集

- ・発行日 毎月5日・15日・25日(月3回)
- ・年間購読料 県内者 6,900円  
県外者 8,000円
- ・内容 新しい技術や栽培管理の紹介と豊富な  
情報提供

**会員の募集**

- 新規入会金 5,000円
- 年会費 11,500円  
(くだものニュース購読料含む)
- ・樹に学び技術を高め、仲間に学び  
仲間を作ろう

お問い合わせ先 〒382-0071  
須坂市大字小河原492  
一般財団法人 長野県果樹研究会  
電話番号 026-248-1248 FAX 026-248-1261

母校百周年記念誌

**土塊百年緑永遠**

DVD付き 5,000円 (税込・送料込)

お問い合わせは同窓会事務局まで

# 長野県 農業改良協会の本

(税込・送料別)

<p>手づくりの楽しみ <b>信州の家庭菜園</b></p> <p>B5版 112頁 1,080円</p>	<p>品目別の作り方はもちろん、整枝せん定は図でわかりやすく、家庭菜園の計画づくりから、苗づくり、土づくり、防除や資材の使い方まで。作付時期や品種が長野県向けなので便利。26年12月発行</p>
<p><b>信州のアスパラガス作り</b></p> <p>B5版 48頁 1,080円</p>	<p>これ1冊で初心者でも名人に！収量アップと品質向上にも役立ちます！ <b>栽培方法はやさしく解説 絵や写真が満載！</b></p>
<p>改訂 <b>絵でみる 果樹のせん定</b></p> <p>B5版 250頁 2,160円</p>	<p>プロ向けに長野県の主要果樹の整枝・せん定を解説。豊富なイラストでわかりやすい。<b>リンゴフェザー苗を使った新しい化樹のせん定、ブドウ短梢せん定も!!</b> 果樹農家、関係技術者待望の1冊 26年10月発行（改訂3版）</p>
<p><b>わが家の果樹園 四季の楽しみ</b></p> <p>B5版 160頁 1,728円</p>	<p>直売向けや自家用の果樹を手軽に楽しむコツをイラストと写真でまとめたオールカラー版 果樹王国信州で楽しめる23品目を掲載。初心者向けに基礎技術・専門用語集も</p>
<p><b>四季の菜園 旬の技</b></p> <p>A5版 158頁 1,728円</p>	<p>今やるのがすぐわかる <b>残りわずか</b> 野菜70種の「旬の技」をイラストで月別にまとめた、プロも使える菜園づくりの虎の巻</p>
<p>水稲／病害虫雑草 <b>ポケット生態ブック</b></p> <p>文庫サイズ 87頁 1,028円</p>	<p>水稲の病害虫と雑草をカラー写真で紹介 現場で生態と特徴がわかるコンパクトなポケットサイズが便利</p>
<p><b>ミニ雑草図鑑</b></p> <p>A5版 190頁 2,376円</p>	<p>480種の雑草をカラー写真で紹介。主要雑草は生育段階別に示す、雑草を見分けるための1冊</p>
<p><b>野菜の病害虫</b></p> <p>B5版 150頁 2,365円</p>	<p>主要な野菜に発生する病害虫について生態、病原菌や卵、被害の特徴をカラー写真で解説</p>
<p><b>花の病害虫</b></p> <p>B5版 158頁 1,620円</p>	<p>花の病気や害虫の特性、発生条件、防除方法をカラー写真で解説</p>
<p><b>信州の花 作り方のテクニック</b></p> <p>B5版 278頁 2,057円</p>	<p>家庭園芸向けに、草花などの時期別作業や栽培管理を詳しく解説。長野県版なので便利</p>
<p><b>ながの うまいもの</b></p> <p>B5版 427頁 2,571円</p>	<p>長野県内の家庭の味、伝統の味、手作りの味を郷土食155種、つけもの140種のレシピで紹介</p>
<p><b>信州の味 ふるさと料理300種</b></p> <p>A5版 376頁 2,262円</p>	<p>信州の人と風土が作り出した味の文化を300種のレシピで紹介</p>
<p><b>おすすめメニュー</b></p> <p>B5版 154頁 1,620円</p>	<p>アイデアにあふれた楽しい料理288種のレシピをカラーで紹介</p>

お申し込みは  
長野県農業改良協会へ

TEL 026-235-1355

FAX 026-234-2278

〒380-0837 長野市南長野字幅下667-6 E-mail: na6000@janis.or.jp

夢・ビジョン・光をもとめて！



## 農業資材・温室・鉄骨建築の専門会社

近代農業の各種資材・施設を皆様に送る専門会社として農業振興の一端を担い、社員一同ご期待に添うべく鋭意努力致しております。

パイプ曲加工・ビニール加工・施工部門を自社で保持していますのでお気軽にご相談下さい。

温室・パイプハウス・鉄骨資材等設計施工  
ビニール・マルチ・シート等農業資材全般

株式  
会社



# 佐久協同

代表取締役会長 櫻井茂利  
代表取締役社長 富澤辰男



本社 長野県佐久市桜井3番地  
一級建築士事務所 あぐりちゃあ  
TEL (0267) 62-0714(代)  
FAX (0267) 62-5716  
松本営業所 長野県安曇野市小倉2770-1  
TEL (0263) 77-7259  
FAX (0263) 77-7299